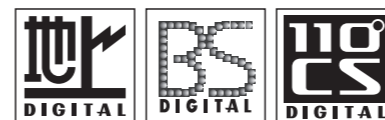


取扱説明書

32V型・40V型

1TBハードディスク&ダブルチューナー搭載
地上波・BS・CSデジタル液晶テレビ



- ・この度は、お買上げ頂き、まことにありがとうございます。
- ・ご使用前に『安全上のご注意』（P3・4）を必ずお読みください。
- ・この取扱説明書は、いつでも見ることができるところに保管してください。
- ・保証書は『お買上げ日・販売店』等の記入を確かめ、大切に保管してください。
- ・この取扱説明書に載っている画面の表示は実際のものとは多少異なる場合があります。

第1版

保証書別添付

■安全上のご注意

■付属品

■スタンドの組み立て方

■各部の説明

■リモコンの説明

■テレビを見るための準備

- ・mini B-CASカードの挿入／抜き取り
- ・アンテナの接続
- ・はじめての設定
- ・アンテナの方向調整と設定

■テレビを見る

- ・放送の種類
- ・リモコンの基本操作

■番組表を使う

- ・番組表を見る

■インターネットを利用する

- ・インターネットを利用するための接続をする
- ・通信設定

■データ放送を楽しむ

- ・dデータを使う

■録画・予約/再生

- ・注意事項
- ・USBハードディスクについて
- ・録画の準備をする
- ・録画・予約をする
- ・録画した番組を再生・保護・削除する
- ・録画した番組を編集する
- ・録画した番組を編集・ムーブする

■サブメニューボタンでできること

- ・時計・タイマー機能
- ・画面サイズ切替／番組表やスピーカー切替など
- ・その他の操作

■各種設定

- ・映像設定
- ・音声設定
- ・機能設定
- ・外部機器設定
- ・初期設定

■外部機器と接続する

- ・接続のしかた

■その他

- ・その他の情報

■故障かも・・・と思ったら

■アフターサービスとお問い合わせ

■製品仕様

TV-60-T523

TV-61-T523

もくじ

安全上のご注意		P3・4
付属品		P5
スタンドの組み立て方		P6
各部の説明		P7・8
リモコンの説明		P9・10
テレビを見るための準備	・miniB-CASカードの挿入／抜き取り	P11・12
	・アンテナの接続	P13
	・はじめての設定	P14・15
	・アンテナの方向調整と設定	P16・17
テレビを見る	・放送の種類	P18
	・リモコンの基本操作	P19~21
番組表を使う	・番組表を見る	P22・23
インターネットを利用する	・インターネットを利用するための接続をする	P24
	・通信設定	P25~27
データ放送を楽しむ	・dデータを使う	P28・29
録画・予約/再生	・注意事項	P30
	・USBハードディスクについて	P31・32
	・録画の準備をする	P33~37
	・録画・予約をする	P38~43
	・録画した番組を再生・保護・削除する	P44~49
	・録画した番組を編集する	P50~53
	・録画した番組を編集・ムーブする	P54
サブメニューボタンで できること	・時計・タイマー機能	P55
	・画面サイズ切替／番組表やスピーカー切替など	P56・57
	・その他の操作	P58・59
各種設定	・映像設定	P60
	・音声設定	P61
	・機能設定	P62~64
	・外部機器設定	P65~67
	・初期設定	P68~71
外部機器と接続する	・接続のしかた	P72
その他	・その他の情報	P73
故障かも・・・と思ったら		P74~76
アフターサービスとお問い合わせ		P77
製品仕様		P78~80

安全上のご注意

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使い頂き、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐものです。また危害や損害の大きさと切迫の程度を『警告』、『注意』の2つに区分されています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、傷害を負う可能性が想定される内容を示しています。

絵記号の意味



この記号は禁止の行為を告げるものです。記号の中や近くに具体的内容が書かれています。



例)『分解禁止』を表す絵表示



この記号は必ず行っていたきたい行為を告げるものです。記号の中や近くに具体的内容が書かれています。



例)『電源プラグを抜く』を表す絵表示

異常・故障時について

警告

異常・故障時は直ちに使用を中止し、電源プラグを抜き、販売店または弊社サポートセンターにご相談ください。

- ・内部に水・金属類・燃えやすいものが入った場合
- ・煙や焦げる臭い、異常音などの異常が発生した場合
- ・落したり、キャビネットを破損した場合
- ・電源プラグ、ACアダプター、コードに損傷や異常な熱を持つ場合
- ・電源が入ったり切れたりする場合

本機の取り扱いについて

警告

液晶ディスプレイは精密機器ですので、強い力や荷重、衝撃を加えないでください。液晶パネルのガラスが割れて、けがの原因になります。

不安定な場所に置かないでください。倒れたり、落ちたりしてけがの原因になります。

本機の上に液体の入った容器などを置かないでください。液体がこぼれて内部に入ると火災・感電の原因になります。

異常に温度が高くなるところや、直射日光が当たる場所には置かないでください。火災の原因や、外装ケース・内部部品が劣化する原因になります。

湿気やほこりの多い所、油煙や、湯気が当たるような所(調理台や加湿器のそばなど)に置かないでください。火災・感電の原因になります。

本機使用中は、風通しの悪い狭い所で使用したり、布・布団・保温材などで覆ったり包んだりしないでください。内部に熱がこもり、火災の原因になります。

分解・改造について

警告

本体、ACアダプターを含め、お客様自身による分解・改造・修理はしないでください。内部には電圧の高い部分があるため、さわると感電の原因になります。内部の点検、修理は販売店または弊社サポートセンターにご相談ください。

雷について

警告

雷が鳴ったら、本機や電源プラグ、アンテナ線に触れないでください。感電の原因になります。

廃棄について

家電リサイクル法が2001年4月1日より施行され、リサイクル料金と収集運搬料金がお客様のご負担となりました。廃棄品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

安全のため必ずお守りください

安全上のご注意

本機の取り扱いについて

注意

- 付属のスタンドを使用し、ねじ止めをする箇所は、すべてしっかり止めてください。倒れたりしてけがの原因になることがあります。
- アンテナ工事が必要な際は、販売店または専門業者にご相談ください。アンテナが倒れた場合、感電の原因になることがあります。
- 壁掛け設置工事は、販売店または専門業者にご相談ください。落下してけがの原因になることがあります。
- あお向けや、横倒し、さかさまにして使用しないでください。内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。
- 本機の上面、左右、後面は10cm以上の間隔を設けて備え付けてください。また、通気孔をふさがないようにください。内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。

お手入れについて

注意

- お手入れの際は安全のためにACアダプター、電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。感電の原因になることがあります。
- 定期的にACアダプター、電源プラグのほこり掃除を行ってください。火災・故障の原因になることがあります。
- 定期的に通気孔等に付着したほこりやごみを取り除いてください。長期間掃除をしないと内部にほこりがたまり、火災・故障の原因になることがあります。内部の掃除が必要な場合は販売店または弊社サポートセンターにご相談ください。
- 長期間使用しないときはコンセントから抜いてください。電源プラグにほこりがたまり、火災・感電の原因になることがあります。

守っていただきたいこと

ヘッドホンを使用するときは音量を上げすぎないように注意して下さい。

ステッカーやテープなどを貼らないでください。キャビネットの変色や傷の原因になることがあります。

乳幼児やペットがいるお客様は、転倒・感電・火傷・誤飲などに十分ご注意ください。

搬送について・・・

本機は立てた状態で運搬してください。横倒しにして運搬した場合、液晶パネルのガラスが破損したり、輝点や黒点が増加することがあります。

電池について

注意

- 電池のアルカリ液がもれたときは素手で触らないでください。電池のアルカリ液が目に入ったときは、失明のおそれがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、ただちに医師の治療をうけてください。皮膚や衣類に付着した場合は皮膚に傷害を起こすおそれがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。皮膚の炎症など傷害の症状があるときは、医師に相談してください。
- 電池は火や直射日光などの過激な熱にさらしたり、分解・改造・ショートしないでください。電池の破裂・アルカリ液もれにより、火災・けがや周囲汚損の原因になることがあります。
- 電池はプラスとマイナスの向きに注意し、機器の表示どおり正しく入れてください。電池の破裂・アルカリ液もれにより、火災・けがや周囲汚損の原因になることがあります。
- 長期間使わないときは、リモコンから電池を取り出してください。電池の破裂・アルカリ液もれにより、火災・けがや周囲汚損の原因になることがあります。

移動について

注意

- 移動させるときは、接続されている線などをすべて外してください。電源コードや本機が損傷し、火災・感電の原因になることがあります。

電波妨害について・・・

本機の近くで携帯電話、ラジオ受信機、トランシーバー、防災無線機などの電子機器を使うと、電磁波妨害などにより機器相互間での干渉が起こり、映像が乱れたり雑音が発生したりすることがあります。このときは、機器に影響のないところで本機から離してください。

急激な温度差がある部屋(場所)でのご使用は避けてください・・・

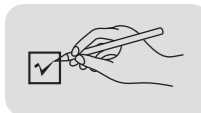
急激な温度差がある部屋(場所)でのご使用は表示品位が低下する場合がありますのでご注意ください。

低温になる部屋(場所)でのご使用の場合・・・

ご使用になる部屋(場所)の温度が低温の場合は、画像が尾を引いて見えたり、少し遅れたように見えることがあります。故障ではありません。常温に戻れば回復します。

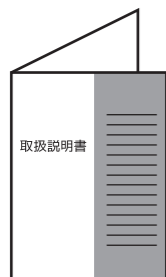
付属品

本製品をお使いになる前に、付属品を確認してください。

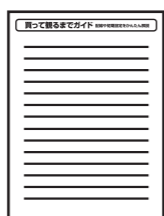


本製品をお取り扱いになる前に、以下のものが全てそろっているか確認してください。万が一、不足しているものや破損しているものがある場合はお買上げ店、または弊社サポートセンターまでご連絡ください。

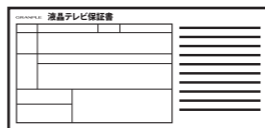
取扱説明書 (本書)



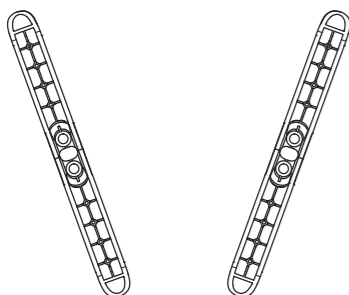
買って観るまでガイド



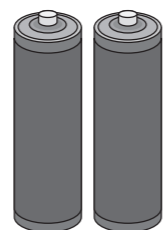
保証書



スタンド
32V型・40V型



リモコン用乾電池2本
(単4形・動作確認用)



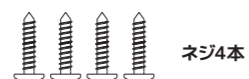
リモコン



mini B-CASカード



スタンド取付用ネジ



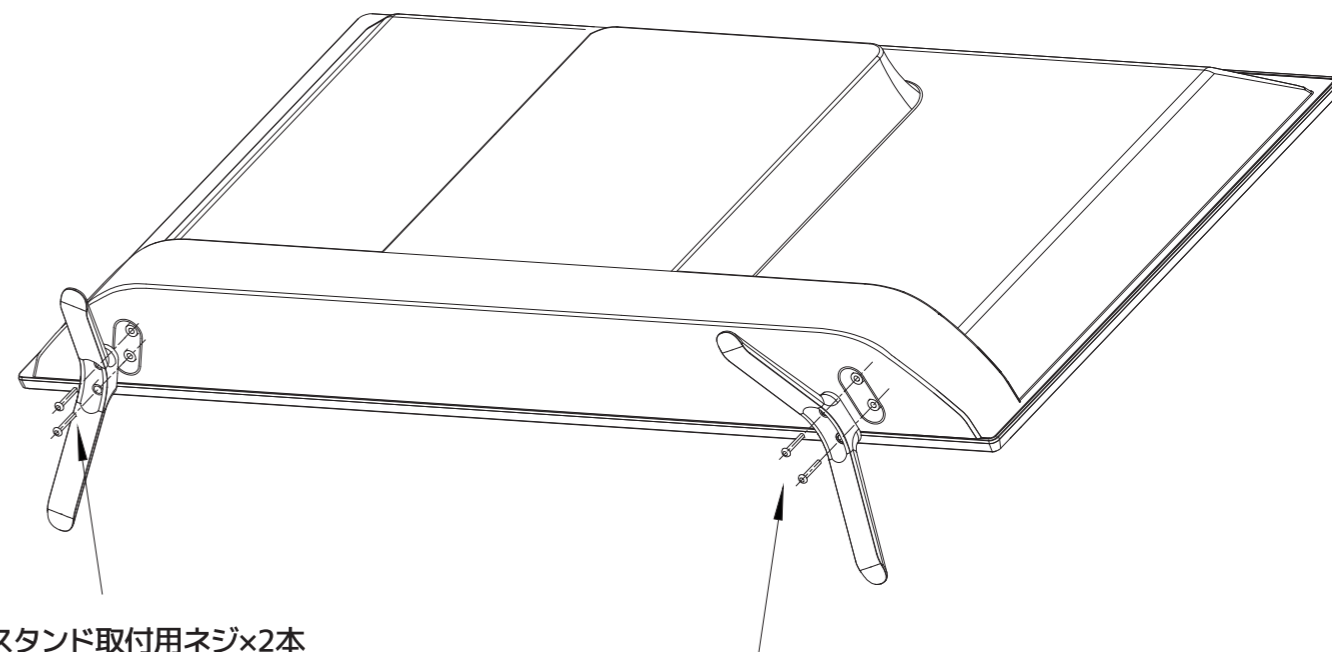
※イヤホン・ヘッドホン・DVDプレイヤー等の接続コード類、アンテナ接続用の同軸ケーブル等は別途必要です。
※乳幼児の手の届かないところに、適切に保管してください。

スタンドの組み立て方

プラスドライバー (市販品) をご用意ください。

1. 本体にスタンドを取り付けます。
2. スタンド裏側から4箇所をネジでとめます。

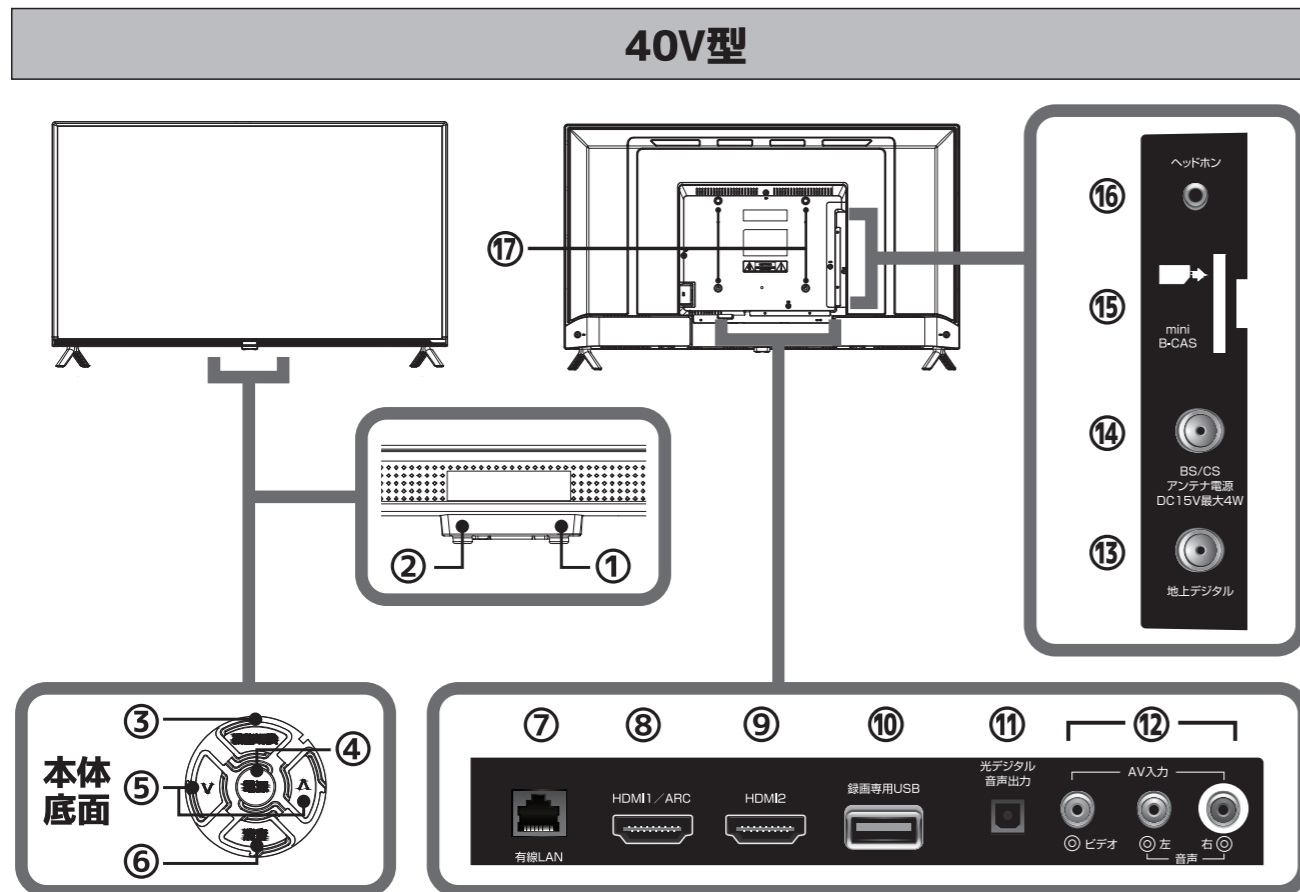
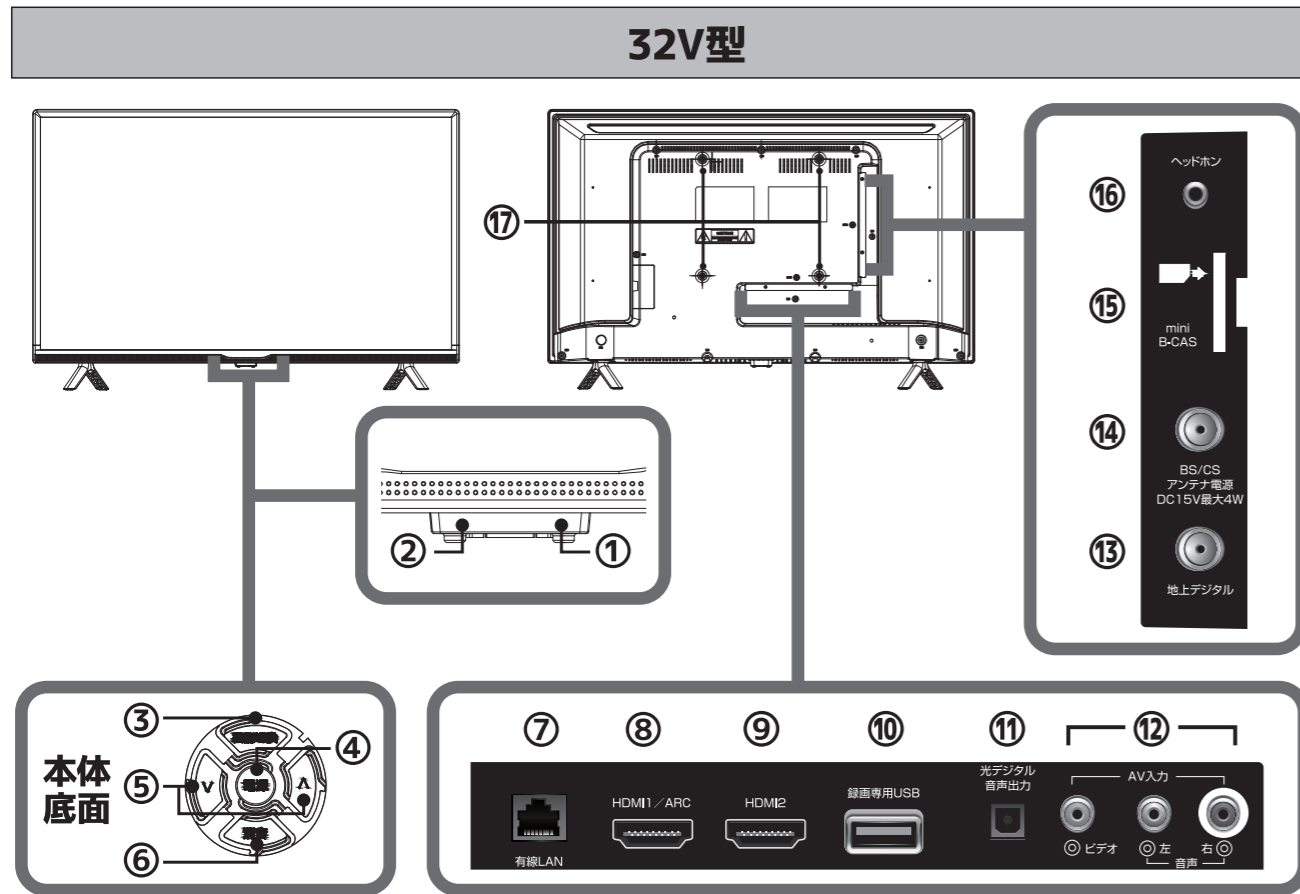
※スタンドを組み立てる際は、毛布など厚手の柔らかい布を敷いた上で行ってください。
※ネジは付属品です。
※ゆるみのないようにしっかりと取り付けてください。



スタンド取付用ネジ×2本

スタンド取付用ネジ×2本

各部の説明



各部の説明

① リモコン受信部

リモコンの信号を受信する部分です。
リモコンはこの部分へ向けて操作してください。
また、受信部近くに遮へい物を置かないようにしてください。

② 電源表示ランプ

青色点灯：電源がオンのとき
赤色点灯：リモコンで電源をオフにしたとき（スタンバイ状態）
無点灯：本体電源がオフのとき

③ 機能切換

ボタンを押すごとにチャンネル切換・放送切換・入力切換・音量調整の順で切換をおこないます。

④ 電源

電源のオン/オフに使用します。
※本体電源がオフの際、リモコンの操作はできません。

⑤ 音量・チャンネル・放送・入力切換

機能切換ボタンを押すごとに次の順番で切り換え『M/V』ボタンで変えます。
チャンネル切換：チャンネルの切り換えに使用します。
放送切換：地デジ/BS/CSの切り換えに使用します。
入力切換：TV/HDMI1/HDMI2/ビデオの切り換えに使用します。
音量調整：無操作、無表示。『M/V』ボタンで音量の調整が出来ます。

⑥ 消音

一時的に音を消します。もう一度ボタンを押すと解除されます。

⑦ 有線LAN端子

有線LANケーブル（市販品）を接続します。

⑧ HDMI1入力端子

HDMIケーブル（市販品）を接続します。
※ARC、CECに対応しています。

⑨ HDMI2入力端子

HDMIケーブル（市販品）を接続します。
※CECに対応しています。※ARCに非対応です。

⑩ 録画専用USB

USBハードディスク（市販品）を接続します。

⑪ 光デジタル音声出力端子

AVアンプ（市販品）等に接続します。

⑫ AV入力端子

AVケーブル（市販品）を接続します。

⑬ 地デジアンテナ入力端子

アンテナ線（市販品）で壁などのアンテナ端子と接続します。

⑭ BS/CSアンテナ入力端子

アンテナ線（市販品）で壁などのアンテナ端子と接続します。

⑮ mini B-CASカード挿入口

mini B-CASカードを挿入します。（P11・12）
カードの向きにご注意ください。

⑯ ヘッドホン出力端子

イヤホン/ヘッドホン（市販品）を接続します。

⑰ 壁掛け金具取付用ネジ穴×4

本製品は市販の壁掛け金具を使用して、壁に取り付けることができます。

- VESA規格
- 32型：MIS-F 200,200,6
- 40型：MIS-F 200,200,6

※壁掛け金具の取り付けは、必ず専門業者にご依頼ください。
※専門業者以外の方が取り付け、壁への取り付けが不適切だと、テレビが落下して、打撲や大けがの原因となることがあります。

リモコンの説明

※リモコンは本体受信部から3メートル以内、上下左右30度以内でご使用ください。

- 電源** 電源をオン/オフにします。
- 入力切換** 入力切換 テレビ放送の切り換えや外部機器入力の切り換えをします。
- 地デジ** 地デジ 地上デジタル放送への切り換えができます。
- BS** BS BS放送への切り換えができます。
- CS** CS CS放送への切り換えができます。
- 番組表** 番組表 現在放送している番組から、それ以降に放送予定の番組一覧表が表示されます。
- チャンネル** 1 ~ 12 チャンネルを直接選ぶことができます。文字の入力に使用します。
- 青・赤・緑・黄** 設定メニュー画面、電子番組表等で、割り当てられている操作を実行します。
- 10秒戻し** 録画データ再生中に押すと、10秒ほど戻って再生します。
- 早見早聞** 録画データの再生/早見早聞再生をします。
- 30秒送り** 録画データ再生中に押すと、30秒ほど先に進んで再生します。
- 早戻し** 再生中の録画データの早戻しをします
- 停止** 再生中の録画データの停止をします。
- 静止** 一時停止をします。
- 早送り** 再生中の録画データの早送りをします
- スキップ前** 前に戻って頭出し再生をします。
- 録画リスト** 録画リストの画面に切り換えます。
- 字幕** 受信している放送が字幕放送の場合、字幕を表示します。
- スキップ後** ひとつ先へ進んで頭出し再生をします。



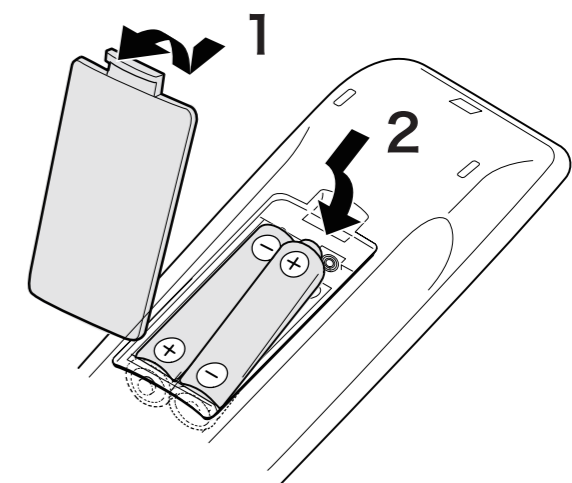
リモコンの説明

- 音量** 音量の調整に使用します。
- チャンネル** チャンネルの切り換えに使用します。
- 画面表示** 画面表示 現在の受信チャンネル情報を表示します。
- 番組説明** 番組説明 番組視聴中にボタンを押すと、画面に番組内容が表示されます。
- 音声切換** 音声切換 2カ国語放送や、音声多重放送受信時に音声言語を切り換えます。
※放送によっては音声言語が切り換えられない場合があります。
- 消音** 消音 一時的に音を消します。もう一度ボタンを押すと解除されます。
- 録画** 録画 録画を開始します。
- サブメニュー** サブメニュー サブメニュー画面を表示します。
- 戻る** 戻る 表示されているメニュー画面などを1つ前の画面に戻すことができます。
- 方向ボタン** 方向ボタン メニュー内でカーソルを動かしたり項目を選択します。
- 決定ボタン** 決定ボタン 選択した項目を決定します。
- 設定** 設定 設定を行います。
- 終了** 終了 メニュー画面、入力切換、画面表示、番組表などを終了したいときに押します。
- dデータ** dデータ データ放送の画面に切り換えます。

電池の入れ方

- 1.リモコン背面の電池カバーを取り外してください。
- 2.電池の向きに注意して電池を入れ、カバーを元に戻します。

※リモコンには単4形乾電池2本が必要です。



テレビを見るための準備

miniB-CASカードの挿入／抜き取り

1. mini B-CASカード台紙に記載の文面をよくお読みください。

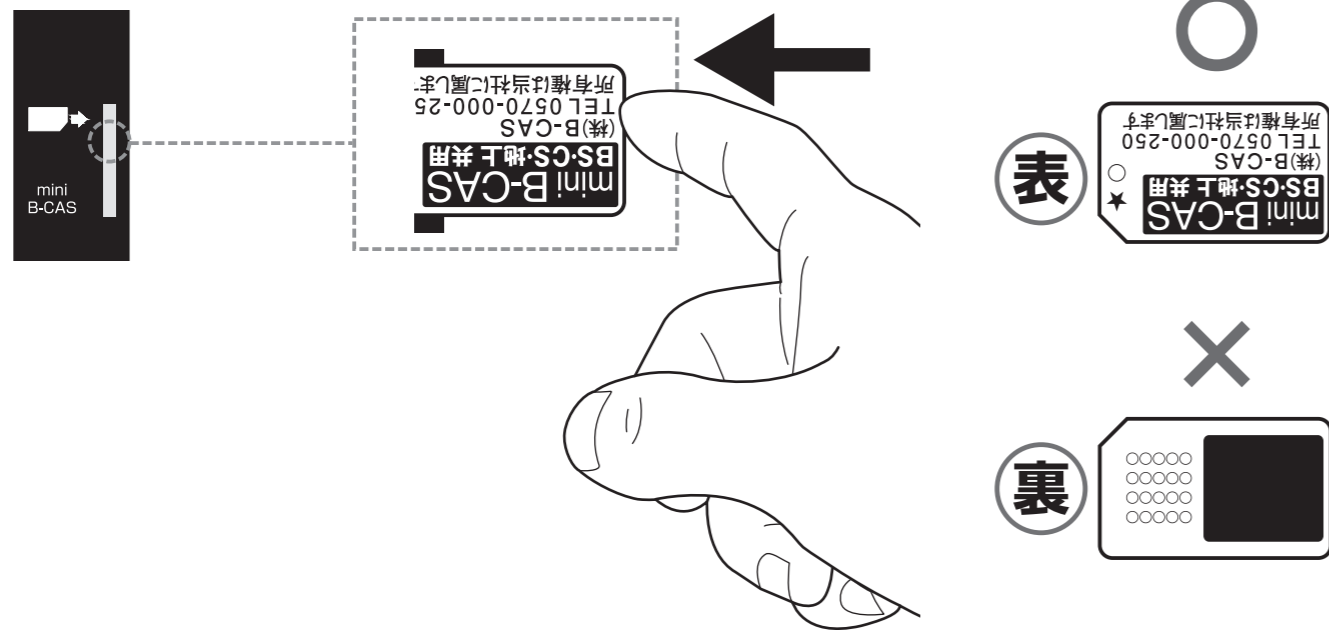
※パッケージを開封すると、添付されている契約約款に同意したとみなされます。開封前に必ず契約約款をよくお読みください。

2. 内容に同意の上でmini B-CASカードを台紙からはずします。

mini B-CASカード台紙 ▶



3. テレビ本体の電源がオフになっていることを確認し、mini B-CASカードを正しい向きで挿入口にしっかり奥まで差し込んでください。

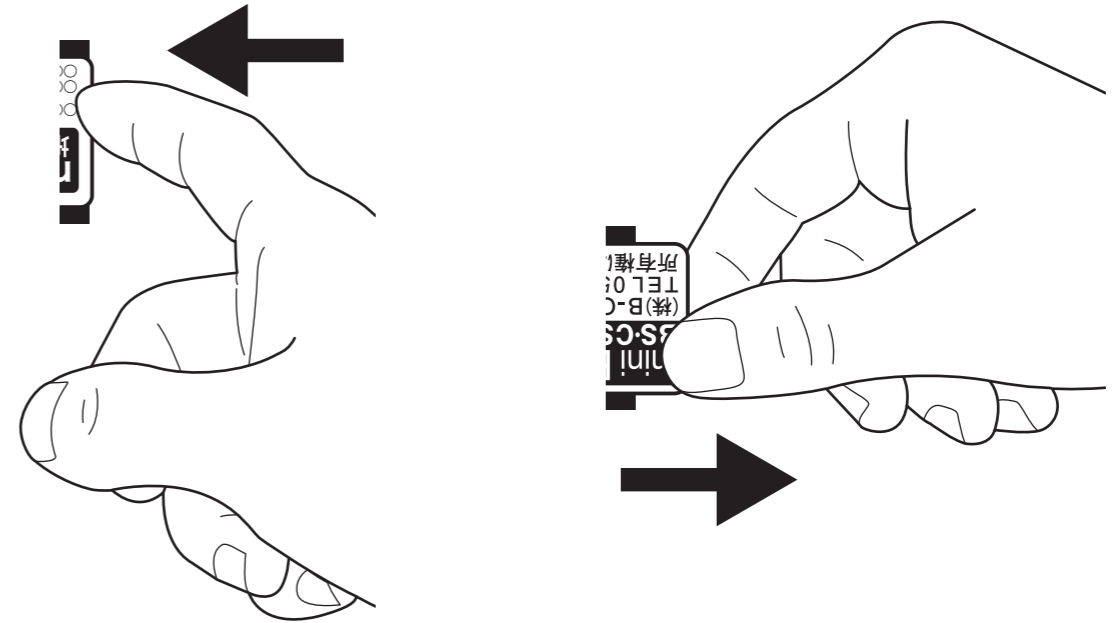


- ※mini B-CASカードを挿入しないとデジタル放送が映りません。
- ※mini B-CASカードは折り曲げないように挿入してください。
- ※mini B-CASカード以外のものを挿入しないでください。故障や破損の原因になります。
- ※ご使用中は抜き差ししないでください。視聴できなくなる場合があります。

テレビを見るための準備

miniB-CASカードの挿入／抜き取り

テレビ本体の電源をオフにして、mini B-CASカードを一度押してから、ゆっくりと抜いてください。



mini B-CASカードの取り扱いについて

- ・mini B-CASカードの取り扱いについて詳しくは、カードに貼ってある台紙の説明をご覧ください。
- ・mini B-CASカードに関するメッセージが画面に表示されたとき以外は、カードを抜き差ししないでください。
- ・裏の端面には触れないでください。
- ・分解・加工はしないでください。
- ・破損などによりmini B-CASカードの再発行を依頼する場合は費用が必要です。詳しくは、mini B-CASカスタマーセンターにご連絡ください。

mini B-CASカードについてのお問い合わせ先

(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ カスタマーセンター TEL:0570-000-250 (2021年4月現在)

テレビを見るための準備

テレビを見るための準備

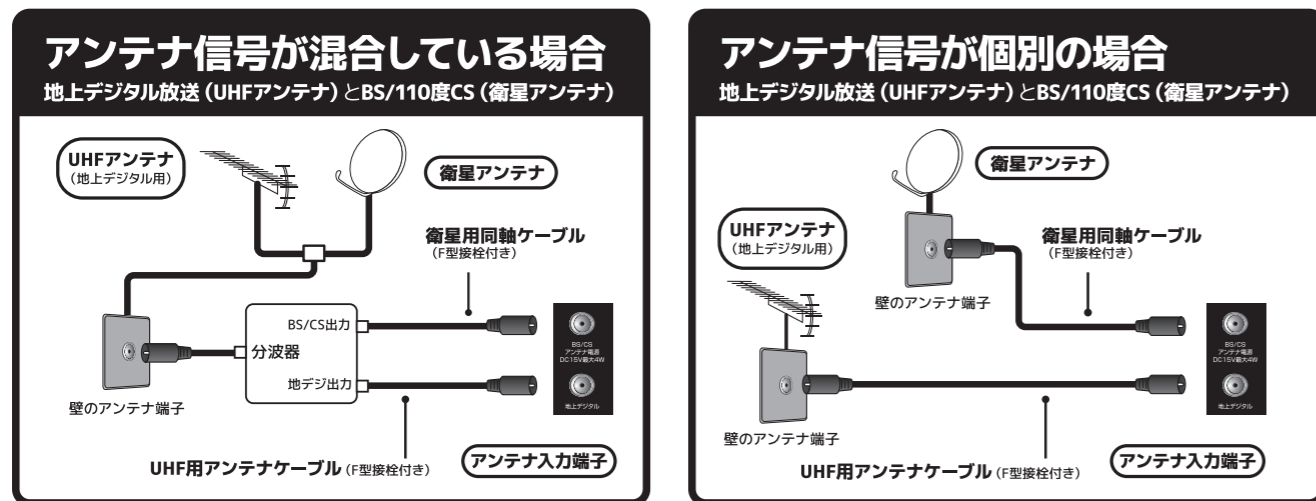
テレビを見るための準備

アンテナの接続

- 地上デジタル放送を受信するにはUHFアンテナ(地上デジタル用)が必要です。
 - BS/110度CS放送を受信するには衛星アンテナが必要です。
- ※アンテナの購入、設置に関しては販売店、電気店、専門の業者にご相談ください。

1.アンテナと本機をつなぎます。

アンテナ線で、壁などのアンテナ端子と本製品のアンテナ入力端子を接続します。



2.電源プラグをコンセントに接続します。

3.本機の電源を入れます。コンセントを繋ぎ本体の電源表示ランプの色を確認の上、下記の手順で電源を入れます。

電源表示ランプの色	電源の入れ方
無点灯の場合	本体底面の電源ボタンを押して電源をオンにします。電源が入るとランプが青色に点灯します。
赤色点灯の場合	リモコンの電源ボタンを押して電源をオンにします。電源が入るとランプが青色に点灯します。
青色点灯の場合	電源が入った状態です。

※本体電源が「切」の場合(ランプが無点灯の場合)リモコンでの操作は出来ません。

※アンテナ線は、工具などを使って締め付け過ぎないようにしてください。故障の原因となることがあります。
 ※本製品にアンテナ線は付属していません。
 ※図は接続の略図です。実際の接続部とは多少、異なることがあります。
 ※地上デジタル放送をご覧になるときは、地上デジタル放送の信号を受信されていることをご確認ください。
 ※リモコンを使用する際は、リモコンの電池がきちんと入っていることを確認してください。
 ※電源を入れてから画面が映るまでに数十秒かかります。画面が表示されるまで少しお待ちください。

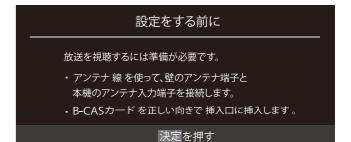
テレビを見るための準備

はじめての設定

開封後、はじめて電源を入れた時、自動的にはじめての設定画面が表示されます。

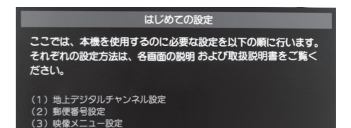
1.電源をつける

コンセントを差し込み、本体の『電源』ボタンを使って電源をオンにします。オンの状態になると、電源ランプが青色に点灯します。はじめて電源を入れたときに、「設定をする前に」画面が表示されます。内容をご確認の上『決定』ボタンを押してください。



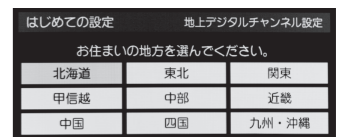
2.はじめての設定

アンテナ接続とmini B-CASカードが挿入されていることを確認してから『決定』ボタンを押します。



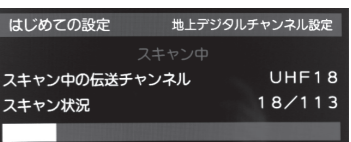
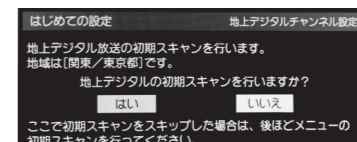
3.都道府県設定

地上デジタル放送チャンネル設定画面で、お住まいの地方、都道府県、地域、を方向ボタンで選び、『決定』ボタンを押します。



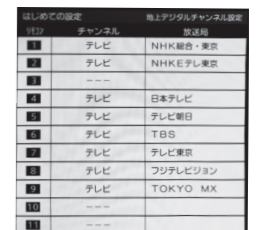
4.初期スキャン

『方向』ボタン◀▶で「はい」を選び、『決定』ボタンを押すと、初期スキャンが始まります。終了するまでしばらくおまちください。



5.受信チャンネルリストの確認

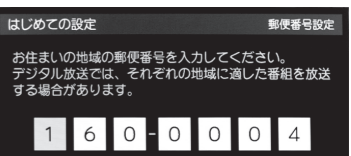
スキャン完了後、受信したチャンネルを確認し、『決定』ボタンを押します。



6.郵便番号設定

郵便番号の設定画面が表示されるので、住まいの郵便番号をリモコンの『数字』ボタンで入力し、『決定』ボタンを押します。

※間違えて入力したときは、◀でカーソルを戻してからもう一度入力します。
 ※郵便番号入力で、上3桁を入力して決定ボタンを押すと、残りの4桁は自動的に『0』が入力されます。
 ※お住まいの地域に密着したデータ放送(天気予報・選挙速報など)を視聴したりするための設定です。



テレビを見るための準備

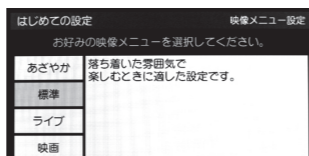
テレビを見るための準備

テレビを見るための準備

はじめての設定

7.映像メニュー設定

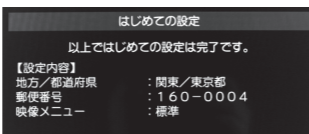
郵便番号の設定が完了すると、映像モードを選択する画面が表示されます。『方向』ボタンでお好みの映像モードを選び『決定』ボタンを押します。



8.設定完了

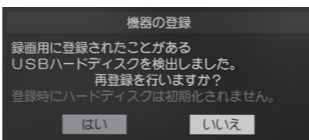
設定内容を確認して『決定』ボタンを押します。以上ではじめての設定は完了です。

※『はじめての設定』をしても地上デジタル放送が正しく受信できなかったときは、お買上げの販売店などにご相談のうえ、アンテナの方向調整をしてください。(P16)

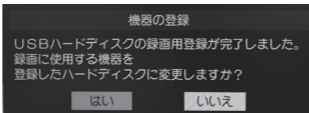


9.機器の登録(内蔵ハードディスクの登録)

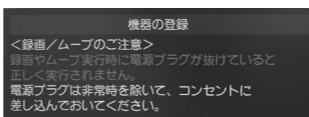
1.続いて録画用ハードディスクの設定を行います。『方向』ボタンで「はい」を選び、『決定』ボタンを押します。登録が始まり「しばらくお待ちください」と表示されます。



2.機器の登録が完了したら『方向』ボタンで「はい」を選び、『決定』ボタンを押します。



3.<録画/ムーブのご注意>画面が表示されたら『決定』ボタンを押します。



4.「機器の登録」の表示が出たら『終了』ボタンを押します。以上で機器の登録は終了です。

※本機に内蔵されているハードディスクの容量は1TBです。
※本機背面の録画専用USB端子にUSBハードディスク(市販品)を接続することによりUSBハードディスクの増設が可能です。USBハードディスクの登録方法はP33をご覧ください。

本製品を安全に品質を維持した状態でご利用いただくためには、下記の確認と設定が必要です。

- 地上デジタル放送を受信するにはUHFアンテナ(地上デジタル用)が必要です。
- BS/110度CS放送を受信するには衛星アンテナが必要です。
- 衛星アンテナには電源供給が必要です。また、個別受信で複数のテレビやチューナーをお使いの場合、分配器・分波器は、全端子電流通過型をご使用ください。
- 既設のBSアンテナでも一部受信できる場合がありますが、環境・条件により受信が不安定になることがありますので、BS・110度CSデジタル放送対応のアンテナおよび受信設備をお使いください。
- 本機に110度CSデジタル放送に対応していないレコーダー等を接続する場合は、接続機器を経由せず直接本機の衛星アンテナ端子へアンテナ線を接続してください。レコーダー等の接続機器との分配が必要な場合は、110度CSデジタル放送対応の分配器をお使いください。
※アンテナの購入、設置に関しては販売店、電気店、専門の業者にご相談ください。
- CATV(周波数変換{VHF CATV:MID/SHB UHF})パススルー対応

テレビを見るための準備

アンテナの方向調整と設定

地上デジタル放送の受信方法

- 屋外アンテナの場合
アンテナが地上デジタル対応のUHFアンテナもしくはVHF/UHFの混同アンテナになっているかを確認してください。
詳しくは電気店またはアンテナ設置業者にご相談ください。
- ケーブルテレビの場合
ご契約されているケーブルテレビの伝送方式がパススルー方式であるかを確認してください。伝送方式が不明な場合は、ご契約されているケーブルテレビ会社にお問合せください。

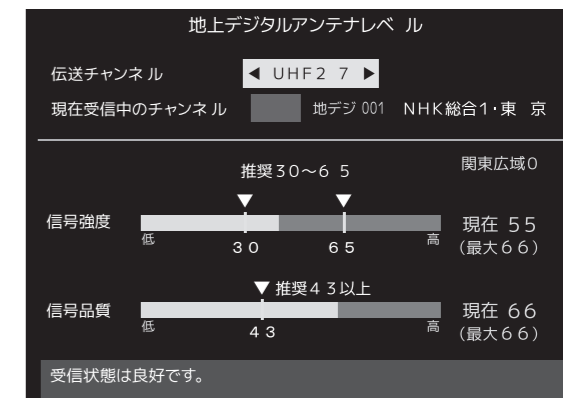
地上デジタル・BS・CS放送の受信強度の確認

(受信強度の確認方法はP16・17)

- 50%未満の場合
電波が弱いもしくは電波障害の可能性あります。詳しくはお買上げ店またはお近くの電気店にご相談ください。
- 50%以上でも映らない場合
アンテナ線などケーブル類の接続に間違いがないか再度確認し、チャンネルの再設定をしてください。

地上デジタルアンテナレベル

- 1.リモコンの『設定』ボタンを押して「初期設定」→「アンテナ設定」を選び、『決定』ボタンを押します。
- 2.『方向』ボタン▲▼で「地上デジタルアンテナレベル」を選択し、『決定』ボタンを押します。
- 3.『方向』ボタン◀▶で「伝送チャンネル」を選択し、お住まいの地域の地上デジタル放送に使用されている転送チャンネルを選んでください。



4.アンテナをゆっくり動かして「アンテナレベル」の数値が最大となるように調整します。

※アンテナの方向調整は、専門業者またはお買上げの販売店にご相談ください。

5.アンテナを固定して、『決定』ボタンを押します。

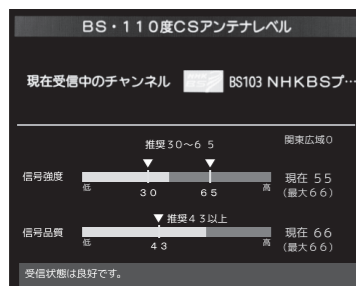
6.アンテナ設定を終了するときはリモコンの『終了』ボタンを押します。

テレビを見るための準備

アンテナの方向調整と設定

BS・110度CSアンテナレベル

1. リモコンの『設定』ボタンを押して「初期設定」→「アンテナ設定」を選び、『決定』ボタンを押します。
2. 『方向』ボタン▲▼で「BS・110度CSアンテナレベル」を選択し、『決定』ボタンを押します。



※受信できるアンテナレベルの目安は、BSデジタルが36以上、110度CSデジタルが28以上です。表示される数値は受信C/Nを換算したものです。

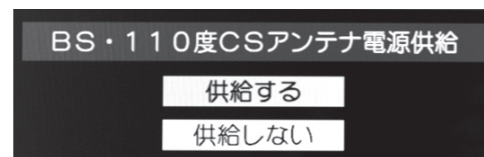
3. 『BS』ボタンまたは『CS』ボタンを押して、放送の種類を選択します。
4. 契約しているチャンネル、または無料チャンネルをチャンネル切替ボタンで選択します。
5. アンテナをゆっくり動かして「アンテナレベル」の数値が最大となるように調節する画面のアンテナレベルの最大値を参考に、アンテナを固定した後にレベル値が下がっていないことを確認してください。

※アンテナの方向調整は、専門業者またはお買上げの販売店にご相談ください。

6. アンテナを固定して、『決定』ボタンを押します。
7. アンテナ設定を終了するときはリモコンの『終了』ボタンを押します。

BS・110度CSアンテナ電源供給

1. リモコンの『設定』ボタンを押して「初期設定」→「アンテナ設定」を選び、『決定』ボタンを押します。
2. 『方向』ボタン▲▼で「BS・110度CSアンテナ電源供給」を選択し、『決定』ボタンを押します。



3. 『方向』ボタン▲▼で「供給する」または「供給しない」を選択し、『決定』ボタンを押します。
4. アンテナ設定を終了するときはリモコンの『終了』ボタンを押します。

テレビを見る

放送の種類

<地上デジタル放送>

UHF帯の電波を使って行う放送で、高品質の映像と音声、さらにデータ放送が特長です。

<BSデジタル放送>

BSデジタル放送とは、放送衛星（Broadcasting Satellite）を使った、デジタル信号によるテレビやラジオの放送です。『WOWOW』『スターチャンネル ハイビジョン』等の有料放送は加入申し込みと契約が必要ですが、視聴条件が無料のチャンネルは申し込み等は不要で、アンテナなどのセッティングが完了すれば視聴可能になります。NHK BS1、NHK BSプレミアムは視聴可能ですが、視聴契約をしないと画面上にメッセージが表示されます。(2021年4月現在)

<110度CSデジタル放送>

110度CSデジタル放送とは、通信衛星（Communication Satellite）を使って行う放送で、ニュースやスポーツ、映画、音楽等の専門チャンネルがあります。一部を除き有料で、受信するには、見たいチャンネルを視聴契約する必要があります。おもなサービスに『スカパー!』があり、CS1とCS2の2つの放送サービスがあります。『スカパー!』へは加入申し込みと契約が必要です。(2021年4月現在)

お問合せ先

WOWOW

公式HP：<http://www.wowow.co.jp/>

カスタマーセンター：0120-580-807（受付時間 9:00～20:00 年中無休）

スターチャンネル

公式HP：<http://www.star-ch.jp/>

カスタマーセンター：0570-013-111 または、044-540-0809

（受付時間 10:00～18:00 年中無休）

スカパー!

公式HP：<http://www.skyperfectv.co.jp/>

カスタマーセンター：0120-211-855（受付時間 10:00～20:00 年中無休）

テレビを見る

リモコンの基本操作

電源をつける

コンセントを差し込み、本体電源が入っている状態（ランプが赤色点灯している状態）で『電源』ボタンを押すと電源がオンになります。オンの状態になると、電源ランプが青色に点灯します。

※本体電源がオフの場合（ランプが無点灯の場合）リモコンの操作は出来ません。（P13）
※電源ボタンを押してから画面が映るまでに十数秒かかります。画面が表示されるまでお待ちください。

消す

もう一度『電源』ボタンを押すと画面が消え、スタンバイ状態になります。

チャンネルを変える

①『数字』ボタンで、見たいチャンネルを直接選択することができます。
※チャンネル表示は数秒で消えます。

② リモコンの『チャンネル \wedge / \vee 』ボタンを押すと、チャンネルの番号順にチャンネルを選択することができます。本体底面の『機能切替』ボタンを押し「チャンネル切替」にし、『 \wedge / \vee 』ボタンを押すとチャンネルを変えられます。

音量を調整する

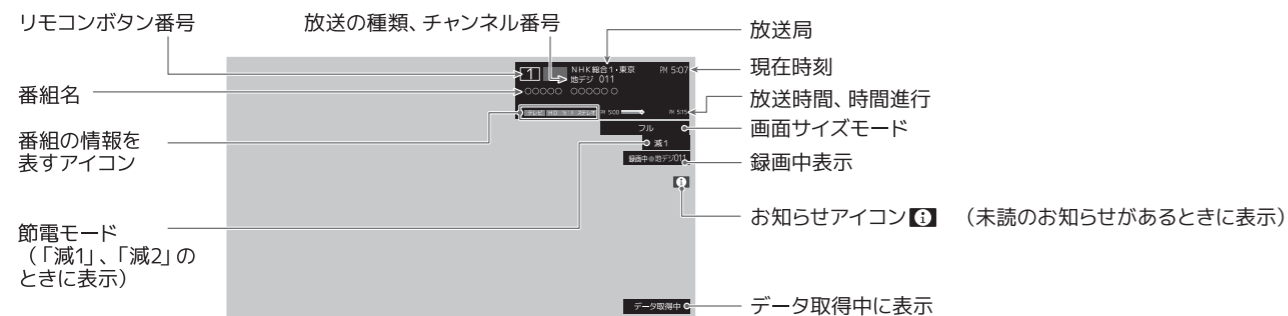
リモコンの『音量+/-』ボタンを押すと、音量を調整することができます。本体底面の『 \wedge / \vee 』ボタンを押すと音量の調整ができます。

消音する

『消音』ボタンを押すと一時的に音が消えます。もう一度ボタンを押すと元の音量に戻ります。

画面表示

『画面表示』ボタンを押すと、現在見ているチャンネルの情報を表示することができます。表示を消すには、もう一度『画面表示』ボタンを押します。※一定時間後、画面下部の表示が消えて上部の表示だけになります。



テレビを見る

リモコンの基本操作

入力切替

ボタンを押すごとに地デジ・HDMI1・HDMI2・ビデオの順で入力切替をおこないます。

※1 番上は現在視聴しているチャンネルが表示されます。



地デジ /BS /CS

リモコンの『地デジ』『BS』『CS』ボタンを押すと、地デジ、BS、CSの放送を視聴することができます。

音声切替

音声切替ボタンを押すたびに別の音声に放送されている音声を切り換えます。 ※放送によって音声切替できない場合があります。

番組説明

番組視聴中に『番組説明』ボタンを押すと、画面に番組内容が表示されます。もう一度『番組説明』または『決定』ボタンを押すと終了します。

使用するボタン

白い箇所が使用するボタン



テレビを見る

リモコンの基本操作

字幕

字幕のある番組のときに、字幕の表示、非表示を切り換えることができます。 ※字幕ボタンを押すたびに字幕オン/ オフに切り換えます。

(例)

字幕オフ

※字幕放送に対応している放送の番組でのみ利用することができます。
※映像自体に字幕が表示されている場合は『字幕オフ』に設定しても字幕が表示されます。
※字幕は放送信号や処理の速度によって多少画面との時間のずれが生じることがありますが、故障ではありません。
※受信している放送によって表示が異なる場合があります。

番組表の表示

番組表を見ることができます。詳細はP22・23をご覧ください。
もう一度『番組表』ボタンを押すとミニ番組表に切り換わります。
『終了』ボタンを押すと終了します。

静止

『静止』ボタンを押すと映像を一時停止します。解除するには再度『静止』ボタンを押します。一時停止中、音声は流れ続けます。

録画リスト

リモコンの『録画リスト』ボタンを押すと、録画した番組を確認することができます。録画リストを表示中にリモコンの『サブメニュー』ボタンを押すと、下記の項目が設定できます。

頭出し再生	番組の冒頭から再生します。
再生設定	『1コンテンツリポート』『リポート』『オフ』から設定できます。
並べ替え	『新しい順』『古い順』を設定できます。
保護	操作手順はP48をご覧ください。
自動削除設定	操作手順はP49をご覧ください。
番組検索	番組のジャンルやキーワードなどの条件を指定して、見たい番組を探すことができます。
番組説明	画面に番組内容が表示されます。
編集・管理	録画した番組の編集を行います。
連ドラ予約	連ドラ予約ができます。
機器の情報	ハードディスクの情報を表示します。
ハードディスク残量表示	ハードディスクの残量を表示します。

使用するボタン

白い箇所が使用するボタン



デジタル放送では、放送局から送られてくる番組情報をもとに、新聞や雑誌などのテレビ番組欄のような放送別の番組一覧を見ることができます。現在から最大7日先までの放送予定を確認できます。

注意

画面の表示は実際のものとは多少異なる場合があります。お買上げ後はじめて使用するときに、長期間電源ケーブルを抜いていた時などは、すぐに番組表が表示されない場合がありますが、異常ではありません。本機がスタンバイ(電源LEDランプが赤点灯)状態のとき1日数回番組表データを取得します。

※主電源を切ると番組表は一旦クリアされますが、起動後に時間情報が取得できると番組表が表示されます。

番組表を見る

- ①デジタル放送視聴中にリモコンの『番組表』ボタンを押します。
- ②視聴中のチャンネルの番組表が表示されます。放送の種類を変更するにはリモコンの『地デジ』『BS』『CS』のいずれかを押します。



※番組表を消すには、リモコンの『戻る』または『終了』を押します。

- ③もう一度『番組表』ボタンを押すとミニ番組表が表示されます。更にもう一度『番組表』ボタンを押すと元の画面に戻ります。

視聴予約を設定する

視聴予約した時間になると自動で予約した番組に切り換わります。電源オフの状態でも予約した時間になると自動で電源がオンになり番組が始まります。

- ①デジタル放送視聴中にリモコンの『番組表』ボタンを押します。
- ②『方向』ボタンで予約したい番組表を選び、『決定』ボタンを押します。
- ③番組内容を確認して「視聴予約」を選び、『決定』ボタンを押します。
- ④番組表の画面で予約した番組のボックスにチェックマークが付きます。

視聴予約を取消す

- ①予約した番組を選び、『決定』ボタンを押します。
- ②「予約を取消しますか？」の画面が表示され、「はい」を選択し『決定』ボタンを押すと、視聴予約が取り消されます。

番組表を使う

番組表を見る

使用するボタン

白い箇所が使用するボタン



番組表を使う

番組表を使う

番組表を見る

カラーボタンでできること 青 赤 緑 黄

青:日時の切換ができます。

赤:文字サイズを変更できます。

緑:条件を絞り込んで番組検索ができます。キーワード検索内での文字入力方法は下記【文字入力方法】をご覧ください。

黄:週間番組表を確認できます。

【文字入力方法】「新規登録」にカーソルを合わせ『決定』ボタンを押します。

文字の入力	リモコンの数字ボタン『1』～『10』※ボタンを押すたびに次の文字に変わります。
入力モードの切換	リモコンの『青』
文字の削除	リモコンの『赤』
漢字変換	リモコンの方向ボタン▲▼
漢字変更範囲変更	リモコンの方向ボタン◀▶
確定	リモコンの『決定』ボタン
スペースの入力	リモコンの『緑』

番組表のサブメニューボタンでできること サブメニュー

番組表の表示中にリモコンの『サブメニュー』ボタンを押すと下記の項目が選択できます。

番組説明	画面に番組内容が表示されます。
番組情報の取得	番組情報の取得をします。
番組表表示設定	『表示チャンネル数』『チャンネル並び順』『番組概要表示』『地デジ表示』を設定することができます。
マルチ表示	BSデジタル放送や地上デジタル放送では、放送事業者ごとの代表チャンネル表示(1チャンネル表示)とマルチチャンネル表示(マルチ表示)の切り換えができます。
ジャンル色分け	特定の色に番組のジャンルを振り分けることができます。ジャンル別に色分けをすれば、見たい番組を探すのに便利です。
番組記号一覧	番組表に表示されている各記号が示す内容を確認できます。
視聴制限一時解除	番組表表示中に視聴制限の一時解除ができます。※すでに一時解除されている場合や、地上デジタル放送などの場合は選択できません。
予約リスト	予約している番組を確認することができます。
テレビ/ラジオ/データ切換	放送局がラジオ・データ切換に対応している時に切り換えることができます。

番組表の見方

放送の種類
リモコンボタン チャンネル 放送局
録画予約がある時間帯 (赤色の縦線表示)
録画予約アイコン
視聴予約アイコン
連ドラ予約アイコン
別の番組がある時間帯 (灰色の二重縦線表示)

放送の種類
放送メディア(データ)
番組表の日付
現在の日時
選択中の番組
色分け設定をしたジャンルに該当する番組は、開始時刻と背景が設定した色になります。
放送時間の短い番組は、番組を選べば番組名などが表示されます。
リモコンボタンの操作ガイド

インターネットを利用する

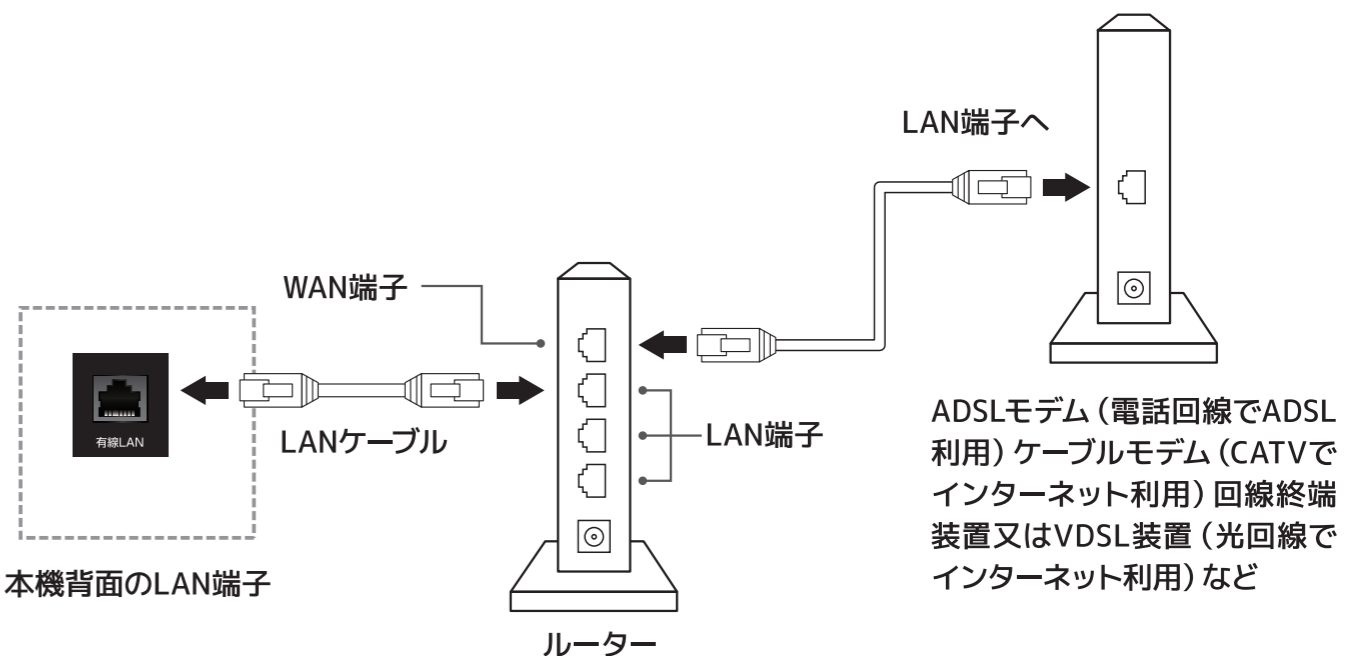
インターネットを利用するための接続をする

データ放送の双方向サービスを利用すると、ショッピングやクイズ番組への参加が楽しめます。 ※本機は電話回線を利用した双方向サービスは対応していません。

<接続する前に>

本機に接続する機器の取り扱い説明書も併せてよくお読みください。ケーブルを接続するときは安全の為、本機、外部機器の電源コードを抜いて作業してください。接続するプラグは各機器にしっかりと差し込んでください。

- はじめてインターネットを利用する場合、プロバイダー(ネット接続業者)か通信業者と契約する必要があります。詳しくは通信事業者もしくは家電量販店などにご相談ください。
- 接続完了後、必要に応じて「通信設定」を行ってください。(P.25~27)
- すでにインターネットをご利用の場合ルーターLAN端子と本機背面のLAN端子をLANケーブルで接続してください。「通信設定」は必要ありません。



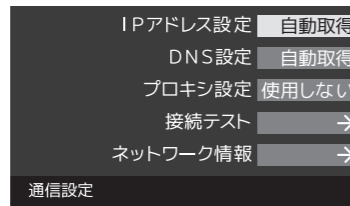
※本機でルーターやルーター内蔵モデムを設定することはできません。機器によってはパソコンなどで設定する必要があります。 ※本機は ISDN 回線などでのインターネット及びダイヤルアップ通信を利用することはできません。 ※取扱説明書に図示されていない機器を接続した場合、正常に通信できないことがあります。 ※ルーターなどが正しく設定されていない回線に本機の LAN 端子を接続すると、正常に作動しないことがあります。

インターネットを利用する

通信設定

本機は、データ放送に対応しております。有線LAN端子が搭載されていますので、双方向番組サービス、連動データ放送がご利用できます。通信設定はLAN端子の接続をした場合に設定します。ご契約のプロバイダーから設定内容の指定がある場合は、それをもとに設定します。

リモコンの『設定』ボタンを押して「初期設定」→「通信設定」を選び、『決定』ボタンを押します。

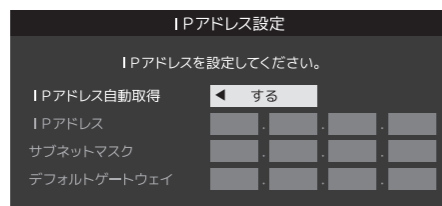


IPアドレス設定

インターネットに接続するために本機で割り当てられる固有の番号を設定します。

【IPアドレスを自動取得する場合】

①「IPアドレス設定」を選択し、『決定』ボタンを押します。



②『方向』ボタン◀▶でIPアドレス自動取得を「する」にして『決定』を押します。

【IPアドレスを手動で取得する場合】

①「IPアドレス設定」を選択し、『決定』ボタンを押します。

②『方向』ボタン◀▶でIPアドレス自動取得を「しない」を選びます。

③『方向』ボタンで「IPアドレス」「サブネットマスク」「デフォルトゲートウェイ」をそれぞれ選び、『数字』ボタンで番号を入力します。

※方向ボタン◀で訂正します。

次ページへ続く→

インターネットを利用する

通信設定

IPアドレス設定(つづき)

④リモコンの『決定』ボタンを押して設定が完了です。

IPアドレス	IPでネットワーク上の機器を識別するために指定するネットワーク層における識別用の番号です。
サブネットマスク	IPアドレスのうちネットワークアドレスとホストアドレスを識別するための数値です。
デフォルトゲートウェイ	所属するLANなどの内部のネットワークから、外部にあるネットワークに通信を行う場合の出入り口の役割を果たすように設定されたルータやコンピュータのことです。

DNS設定

ドメイン名をIPアドレスに置き換える機能を持ち、IPアドレスで特定されているDNSサーバーを設定します。

【DNSアドレスを自動取得する場合】

①「DNS設定」を選択し、『決定』ボタンを押します。

②『方向』ボタン◀▶でDNSアドレス自動取得を「する」にして『決定』を押します。

【DNSアドレスを手動で取得する場合】

①「DNS設定」を選択し、『決定』ボタンを押します。

②『方向』ボタン◀▶でDNSアドレス自動取得を「しない」を選びます。

③『方向』ボタンで「DNSアドレス(プライマリ)」「DNSアドレス(セカンダリ)」をそれぞれ選び、『数字』ボタンで番号を入力します。 ※方向ボタン◀で訂正します。

④リモコンの『決定』ボタンを押して設定が完了です。

DNSアドレス(プライマリ)	管轄するドメインのメインとなるDNSサーバーです。
DNSアドレス(セカンダリ)	プライマリDNSサーバの内容を複製したものです。

使用するボタン

白い箇所が使用するボタン



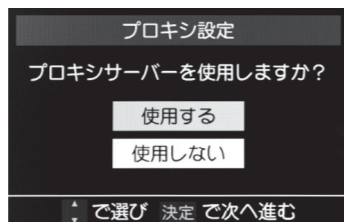
インターネットを利用する

通信設定

プロキシ設定

インターネットとの接続時にプロキシ（代理）サーバーを経由する場合に設定します。ご契約のプロバイダーから指定がある場合にだけ設定してください。

①「プロキシ設定」を選択し、『決定』ボタンを押します。



②『方向』ボタン▲▼でプロキシサーバーを「使用する」または「使用しない」を選び、『決定』ボタンを押します。

接続テスト

「接続テスト」を選択し、『決定』ボタンを押すと、インターネットの接続テストを実行します。テスト後、次画面にて結果が表示されます。

ネットワーク情報

現在利用しているネットワーク情報が表示されます。

ネットワーク情報	
接続タイプ	有線
IPアドレス設定	自動取得
IPアドレス	XXX.XXX.XXX.XXX
サブネットマスク	XXX.XXX.XXX.XXX
デフォルトゲートウェイ	XXX.XXX.XXX.XXX
DNS設定	自動取得
DNSアドレス(プライマリ)	XXX.XXX.XXX.XXX
DNSアドレス(セカンダリ)	XXX.XXX.XXX.XXX
プロキシ設定	使用しない
サーバ名	
ポート番号	
有線MACアドレス	XX-XX-XX-XX-XX-XX

使用するボタン

白い箇所が使用するボタン



データ放送を楽しむ

dデータを使う

<データ放送とは>

データ放送には2つの種類があります

- ・連動データ放送
テレビ放送チャンネルで提供されているデータ放送です。
- ・独立データ放送
地デジのGガイドや、BS/CSチャンネルで番組案内、ニュース、天気予報など、独立したチャンネルとして放送される番組です。

<連動データ放送を楽しむ>

- ・一部の番組には番組連動データ放送があり、双方向サービスが行われている番組連動データ放送では、番組に参加することができます。
- ・テレビ放送チャンネルで番組案内や天気予報、ニュース等のデータ放送を提供している場合があります。

<デジタル放送の双方向サービスとは>

- ・インターネットや電話回線を利用して放送局との間で双方向に通信できるサービスです。ショッピング番組で買い物したり、クイズ番組でクイズに参加して回答したりできます。(本機では電話回線を利用した双方向サービスは対応しておりません。)
- ・地上デジタル放送の双方向サービスには番組に連動した通信サービスと番組とは関係のない通信サービスがあります。

<双方向サービスについてのお知らせ>

- ・双方向サービスをご利用される場合、あらかじめインターネットの接続と設定を行ってください。
- ・双方向サービスのご利用には登録の申し込みが必要な場合があります。
- ・双方向サービスでは、ご利用者の個人情報の入力を要求する場合がありますが、接続のサイトによってはSSLなどのセキュリティ対策がない場合がありますので、ご注意ください。
- ・双方向サービスをご利用時、通信がすぐにできず、次の操作まで時間がかかる場合があります。
- ・テレビ作動中は電源プラグを抜かないでください。本機が記憶している双方向サービスで、お客様のポイント等の情報が更新できないことがあります。

データ放送を楽しむ

dデータを使う

デジタル放送の番組視聴中に『dデータ』ボタンを押すと、番組連動データ放送画面が表示されます。もう一度『dデータ』ボタンを押すと、通常の画面に戻ります。

リモコンの『方向』ボタンと『決定』ボタンで操作することができます。また、リモコンのカラーボタン『青・赤・緑・黄』で、データ放送画面内の色々な情報を選んで閲覧することができます。

(画面に表示された色と同じリモコンのカラーボタンで選択します。)

※放送データの取得中は、一部の操作ができないことがあります。

※放送画面の操作説明などで『dデータ』ボタンは『データボタン』『データ放送ボタン』と表示される場合があります。

※本機は、電話回線を利用した双方向サービスには対応していません。



※各放送局からのデータ放送画面内容はそれぞれ違いますので、画面に表示されている操作方法を読んでから操作してください。

<ラジオ・独立データ放送を楽しむ>

- ①デジタル放送を観ている時に『サブメニュー』ボタンを押します。
- ②『方向』ボタン▲▼で「その他の操作」を選び、『決定』ボタンを押します。
- ③『方向』ボタン▲▼で「テレビ/ラジオ/データ切替」を選び、『決定』ボタンを押します。
- ④切り換えたい項目を『方向』ボタン▲▼で選び、『決定』ボタンを押します。

※放送局がラジオ・データ切替に対応している時に切り換えることができます。

※切替後、画面に表示されるまでに時間がかかることがあります。

録画・予約/再生

注意事項

使用するボタン

白い箇所が使用するボタン



- ・最大予約件数は128番組です。
- ・ハードディスク(HDD)の最大録画番組数は3000番組です。
- ・最大1番組録画時間は23時間59分です。
- ・録画時間の目安は、1TBのHDDで地デジ約100時間です。(番組のデータ量によって録画可能時間は変わります。)
- ・何らかの理由(主電源が切れた、電波が途切れた等)で録画が中断した場合には、データが破損してしまい、再生できない場合があります。
- ・ビデオやHDMIなど外部入力の映像などを記録することはできません。テレビ放送のみ録画可能です。
- ・本製品で録画したデータは、パソコンなどでの使用や視聴はできません。
- ・番組表は約7日後まで取得できます。それ以上先の録画予約はできません。日時を指定して録画予約した場合、6週先まで予約できます。
- ・同じ時間帯には1番組しか録画できません。
- ・本機ではじめて録画する場合、試し録画をして正しく録画できることを確かめてください。
- ・著作権法のため本機で録画した番組は他機器への移動(ムーブ)や複製(コピー)をすることはできません。本機に複数台のハードディスクを接続の場合はハードディスク間の移動(ムーブ)や複製(コピー)は可能です。
- ・本機で録画した番組は、本機でのみ視聴する事が出来ます。同機種であっても視聴できません。
- ・本機の故障などの理由により修理や交換をした場合には、すでに録画していた番組が視聴できなくなります。あらかじめご了承ください。
- ・本機を購入されたお客様が録画した番組については、個人または家庭内その他これに準ずる限られた範囲内で楽しむ以外は、著作権法上権利者に無断では使用できません。録画したものを個人または家庭内その他これに準ずる限られた範囲で楽しむ以外に権利者の許諾なく複製や改変をしたり、インターネットなどで送信や掲示したりすることは著作権法上禁止されています。以下の行為についても原則として著作権法上保護された権利を侵害することになりますのでご注意ください。

録画した番組を自分のホームページに載せる。

録画した番組をメールなどで他人へ送る。

録画した番組を営利目的で不特定多数へ貸す。

- ・著作権法に違反すると刑事処罰を受ける場合もありますので自己責任のもとでご利用ください。なお著作権法違反によって生じた損害に関して当社は一切の責任を負いません。

録画・予約/再生

USBハードディスクについて

- ・AC電源タイプ(標準規格USB2.0以上)のハードディスクを使用してください。
- ・バスパワータイプのポータブルハードディスク(USB端子だけ付いているもの)は使用出来ません。
- ・Flash-SSD(ソリッドステートドライブ)は使用できません。
- ・使用できるハードディスクの容量は6TBまでです。データ転送方式がUSB2.0以上のものをご使用ください。(USB3.0以上の規格の場合使用できないことがあります。)
- ・USBハブ(セルフパワータイプ)を使用すれば、4台までのハードディスクを同時に接続できます。
- ・1つのハードディスクには最大3000件の録画が可能です
- ・本機以外で録画をしたハードディスクの再生はできません。接続すると初期化されて、保存データが消去される恐れがあります。
- ・初めて本機に接続するハードディスクは、まず初期化を行ってください。※データが保存されている場合は消去されますので、ご注意ください。
- ・初めて使用するハードディスクの場合、正しく初期化が行われない場合があります。その際はもう一度初期化を行ってください。
- ・ハードディスクを認識するまで、約1分間時間がかかる場合があります。
- ・USBハードディスクは信頼のおける高品質なものをお使いください。
- ・録画を行う場合は、事前に試し録画をして正常に録画出来ることを確かめてください。
- ・録画した番組を再生すると、映像と音声が多量にずれてしまう場合がありますのでご了承ください。
- ・外部記録メディアの物理的な破損や、内部データが損傷することで録画番組が再生できなくなる可能性があります。
- ・使用中(アクセス中)に本製品から取り外すと、外部記録メディアが破損し以降の録画や再生が正常に動作出来なくなる事があります。
- ・外部記録メディアを取り外す場合は、設定から「取り外し」を選択してからUSB端子を抜いてください。
- ・本機やUSBハードディスクの電源を正しく切らなかった場合、全ての録画番組が視聴できなくなる恐れがあります。
- ・物理的な衝撃(落下・重量物を本体にぶつけるなど)を与えたり不安定な場所で使用しないでください。
- ・分解や変形させないで下さい。
- ・磁気を近づけたり、電磁波が出ていると思われる場所で使用しないでください。
- ・高温になる場所(直射日光の当たる窓際や暖房器具の傍など)で使用や放置をしないでください。故障の原因となります。
- ・録画した番組に対する保証は致しかねます。予めご了承ください。
- ・See Q Vault対応のHDDはサポートしておりません。

録画・予約/再生

USBハードディスクについて

- ・USBハードディスクの最大予約件数は128件です。最大総番組数は3000件です。
- ・本機に接続したUSBハードディスクは、容量に関わらず、残容量が3.6GB未満になった場合は録画できません。

USBハードディスクの自動削除機能について

- ・録画番組数が2998件を超える場合、もしくはハードディスクの残容量が3.6GB未満になった場合に、自動的に録画番組を削除する機能です。
- ・録画日付の古い順に、再生済みの番組が自動的に削除されます。
- ・再生済みの番組を削除してもハードディスクの残容量が不足している時は、録画日付の古い順に、再生していない番組が削除されます。
- ・お買上げ時には、USBハードディスクの【自動削除設定】が【削除しない】に設定されています。
- ・録画番組を自動的に削除する場合は、【自動削除設定】を【削除する】に設定してください。(P49)

録画可能時間の目安

(例)1TBのUSBハードディスクの場合

放送番組の種類	録画可能時間の目安
地上デジタルハイビジョン放送(HD)番組だけを録画する場合	約100時間
BS/110度CSデジタルハイビジョン放送だけを録画する場合	約80時間
地上デジタル及びBS/110度CSデジタルの標準テレビ放送(SD)番組だけを録画する場合	約250時間

※USBハードディスクの残量時間表示は、BSデジタル放送のHD放送(24Mbps)を基準に算出しています。録画可能時間はあくまで目安です。

録画・予約の種類

録画・予約の種類	記載ページ
番組表から録画予約する	38ページ
連続ドラマ等を繰り返し録画予約する	39ページ
録画する日時を指定して録画予約する	40ページ

USBハードディスクを本機に登録する

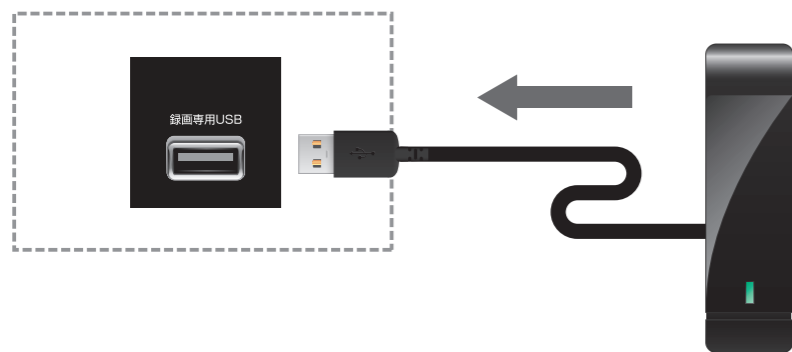
本機に接続した USB ハードディスク(市販品)で、デジタル放送番組の録画や録画予約ができます。

1. USBハードディスクを接続します。本機背面のUSB端子(録画用)にUSBハードディスクを接続してください。

※AC電源タイプ(標準規格USB2.0)のUSBハードディスクを使用してください。

※本機に接続できるUSBハードディスクの最大容量は6TBです。

※電源オンが必要なUSBハードディスクの場合は、電源をオンにしてから接続してください。



※USBハブ(セルフパワータイプ)を使用すれば、4台までのハードディスクを同時に接続できます。(本機に登録できるのは8台までです)

⚠ 注意

- ・パソコンで使用していたUSBハードディスクを本機に接続して登録すると、パソコンなどで保存していたデータは全て消去されます。
- ・USBハードディスクの動作中は、USBハードディスクの電源を切ったり、USBケーブルを抜いたりしないでください。保存した内容が消えたり、ハードディスクが故障したりする原因となります。
- ・本機に接続し初期化登録を行ったUSBハードディスクは本機以外のテレビやパソコン等では利用できません。

次ページへ続く→

USBハードディスクを本機に登録する(つづき)

2. 本機が未登録のUSBハードディスクを検出すると「機器の登録」画面が表示されます。以下の手順で本機に登録を行ってください。

【登録の方法】

- ①方向ボタンで「はい」を選んで『決定』ボタンを押します。
※「いいえ」を選択した場合そのUSBハードディスクは「機器の登録」の画面で「未登録」となり「未登録」のUSBハードディスクを登録する場合は、次の「USBハードディスクの設定をする」で「機器の登録」の操作をしてください。
- ②初期化の確認画面で「はい」を選んで『決定』ボタンを押します。
- ③ハードディスクの登録名を変更する場合は「はい」を選んで『決定』ボタンを押します。
- ④登録したUSBハードディスクを録画機器として設定する場合は「はい」を選んで『決定』ボタンを押します。 ※表示された登録名のままでよければ「いいえ」を選んでください。 ※_(スペース)だけの名称は登録できません。
- ⑤「録画/ムーブのご注意」などの内容を読み、『決定』ボタンを押します。
- ⑥登録内容を確認し、『終了』ボタンを押します。

【本機で使用履歴のあるUSBハードディスクを接続した場合】

- ①「録画用に登録されたことがあるUSBハードディスクを検出しました。再登録しますか?」と表示されます。 ※再登録の場合、ハードディスクは初期化されません。
- ②「はい」を選んで『決定』ボタンを押します。
- ③登録機器のリスト画面が表示され、登録が完了します。元の画面に戻るには『戻る』ボタンを押します。

録画・予約/再生

録画の準備をする

リモコンの『設定』ボタンを押して「外部機器設定」を選び、『決定』ボタンを押します。

USB ハードディスク設定

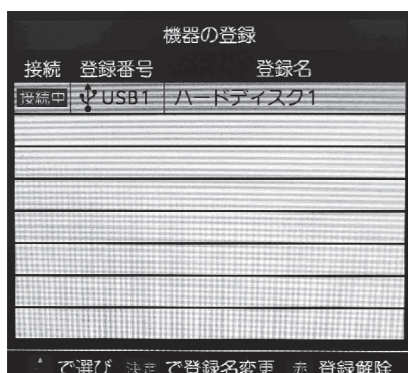
『USBハードディスク設定』を選び、『決定』ボタンを押します。

【機器の登録】

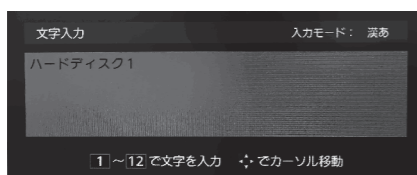
ハードディスクの名前を変更したり、機器の登録/解除を行います。

※機器の登録を解除すると、ハードディスクが使用できない状態になります。

1. 「機器の登録」を選び『決定』ボタンを押します。
2. 『決定』ボタンを押すと登録名が変更できます。



3. 「登録名を変更しますか？」の画面で「はい」を選び『決定』ボタンを押します。
4. 『1』～『12』ボタンで名前を変更し『決定』ボタンで変更を完了します。



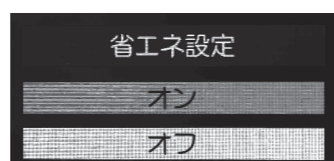
【機器の登録】つづき

5. 登録の解除を行う場合は『赤』ボタンを押し、次の画面にて「はい」を選んで『決定』ボタンを押します。

【省エネ設定】

USBハードディスクの省エネ設定を行います。

1. 『方向』ボタンで「オン」「オフ」を選択し『決定』ボタンを押します。



オン	ハードディスクを使用しない状態が続いた際に自動的に待機状態にします。
オフ	本体電源が「入」の時は、常時USBハードディスクの電源を「入」に設定します。

※複数のUSBハードディスクに対して個別の設定変更はできません。
※「省エネモード」に設定した場合、USBハードディスクが動作するまでに時間がかかることがあります。
※USBハードディスクによっては、機器の表示が「待機」の状態を正しく示さないことがあります。
※USBハードディスクによっては「オフ」に設定していても、USBハードディスク側の省エネ機能によって、待機状態になることがあります。
※本機の電源がOFFのときでも「自動スキャン」や「番組情報の取得」が内部で動作している場合には、USBハードディスクの電源が入る場合があります。
※USBハブを使用している場合、本機の電源がOFFのときでも、USBハブからの電源供給によってUSBハードディスクの電源が入る場合があります。

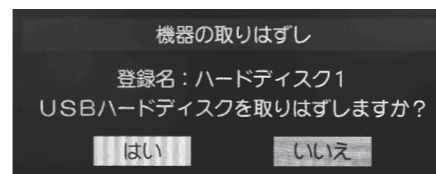
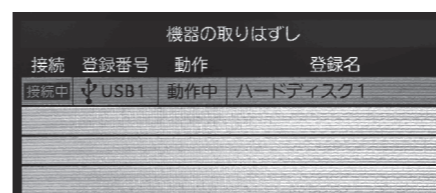
録画・予約/再生

録画の準備をする

【機器の取りはずし】

USBハードディスクを取り外します。

1. 「機器の取りはずし」を選び、取りはずす機器をで選択し『決定』ボタンを押します。
2. 確認画面で、「はい」を選んで『決定』ボタンを押します。
3. 終了すると「USBハードディスクを取りはずしできます」のメッセージが表示されます。
4. USBハードディスクを取りはずし、『決定』ボタンを押します。



【録画番組の修復】

録画中に停電したり、電源プラグを抜いてしまったりすると録画番組が正しく保存されず、そのままでは再生できません。このような場合、「録画番組の修復」をすると、録画された内容を再生できるようになることがあります。

【動作テスト】

USBハードディスクで以下の動作が可能かテストします。

録画	ハイビジョン画質で録画可能か
録画中の再生	ハイビジョン画質で録画しながら番組再生可能か
録画中の早見早聞	録画中に早見早聞ができるか

1. テストする機器を選び『決定』ボタンを押します。
2. テストが始まります。終了までに数分間かかります。
3. テストが終わると結果が表示されます。テスト結果に問題の無い場合は「OK」と表示されます。

※テスト結果はあくまでも目安となっており、結果どおりに動作しない場合があります。

録画・予約/再生

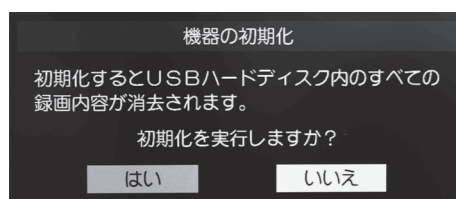
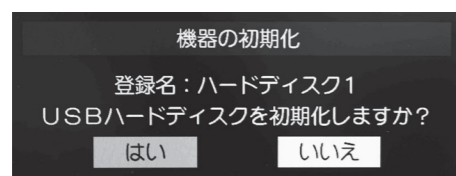
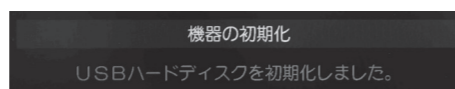
録画の準備をする

【機器の初期化】

ハードディスクを初期化します。正常に使用できなくなったハードディスクを初期化することで使用できるようになる場合があります。

※初期化すると、ハードディスクに保存されている内容は全て消去されます。

1. リモコンの『設定』ボタンを押します。
2. 外部機器設定→USBハードディスク設定→「機器の初期化」を選び『決定』ボタンを押します。初期化するハードディスクを選択し『決定』ボタンを押します。
3. 「USBハードディスクを初期化しますか？」で「はい」を選択し『決定』ボタンを押します。
4. 「初期化を実行しますか？」で「はい」を選択し『決定』ボタンを押します。
5. 初期化が始まります。初期化中に電源を切ると本機の故障の原因となりますので、絶対に電源を切らないでください。
6. 初期化が完了すると、「USBハードディスクを初期化しました」と表示されます。



録画・予約/再生

録画・予約をする

複数台のハードディスクを接続している場合は、録画する前に「録画先」（録画保存をするハードディスク）を選択してください。ハードディスクの「録画先」確認方法はP66をご覧ください。

視聴中の番組を録画する

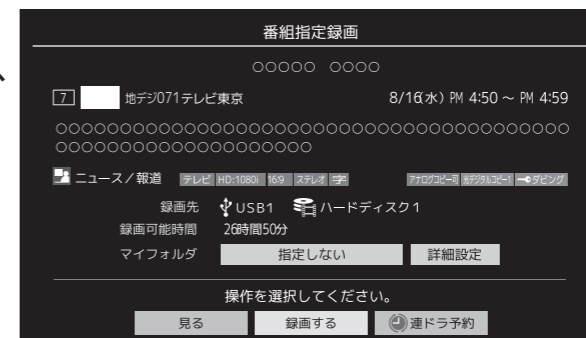
録画したい番組を選局してリモコンの「録画」ボタンを押します。

番組表から録画予約をする

1. リモコンの『番組表』ボタンを押します。
2. 『方向』ボタンで録画したい番組を選び『決定』ボタンを押します。

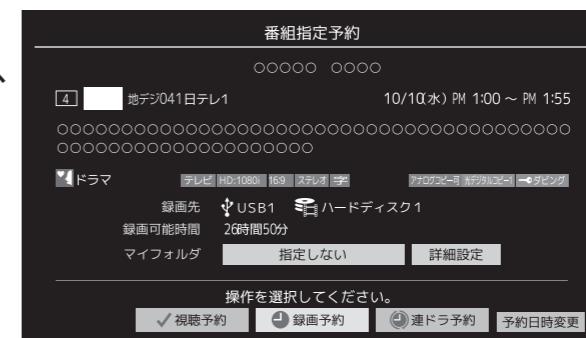
【現在放送中の番組を選んだ場合】

『方向』ボタン◀▶で「録画する」を選び、『決定』ボタンを押します。



【これから放送される番組を選んだ場合】

『方向』ボタン◀▶で「録画予約」を選び、『決定』ボタンを押します。



使用するボタン

白い箇所が使用するボタン



録画・予約/再生

録画・予約をする

連続ドラマ等を繰り返し録画予約する

連続ドラマなどのシリーズ番組や連日放送されている同じ番組などを、毎回自動的に録画されるように予約することができます。

1. リモコンの『番組表』ボタンを押します。
2. 連ドラ予約をする番組を『方向』ボタンで選び、『決定』ボタンを押します。
3. 『方向』ボタンで「連ドラ予約」を選び、『決定』ボタンを押します。
4. 「連ドラ予約しますか？」と表示されたら「はい」を選び、『決定』ボタンを押します。

【連ドラ予約の詳細設定をする場合】

1. 上記「4.」の画面で『方向』ボタン▲▼で「詳細設定」を選び『決定』ボタンを押します。
2. 設定する項目を『方向』ボタン▲▼で選び『決定』ボタンを押します。

項目	内容
連ドラ	必要に応じて、録画されるドラマのタイトルを編集できます。(※録画後の設定も可能です)
追跡キーワード	連ドラ予約の追跡キーワードを編集できます。
追跡基準	連ドラ予約する番組の録画曜日と時間を設定できます。
録画先	録画するハードディスクを指定します。
上書き録画	連ドラ予約の場合、上書き録画の設定をします。上書き録画すると前回の録画番組は削除されます。
保護	録画する番組を保護するかどうか選択できます(※録画後の設定も可能です)
チャプター設定	シーンの変わり目でチャプター分割(章分け)されるように設定できます。

3. 設定が完了したら『方向』ボタン▲▼で「設定完了」を選び『決定』ボタンを押します。
4. 『方向』ボタンで「マイフォルダ」を選び『決定』ボタンを押し、保存先のフォルダを指定します。
5. 「連ドラ予約しますか？」と表示されたら「はい」を選び『決定』ボタンを押します。

使用するボタン

白い箇所が使用するボタン



録画・予約/再生

録画・予約をする

録画する日時を指定して録画予約する

1. リモコンの『番組表』ボタンを押します。
 2. リモコンの『サブメニュー』ボタンを押します。
 3. メニューが表示されたら『方向』ボタン▲▼で「予約リスト」を選び、『決定』ボタンを押します。
 4. リモコンの『青』ボタンを押します。
 5. 日時指定予約画面が表示されたら録画予約の日時を設定します。
 - ・ 6週間先まで指定できます。
 - ・ 特定の日の他に、『毎日』『毎週(月)～毎週(日)』『月～木』『月～金』『月～土』などの繰り返し録画も選べます。
 - ・ 設定できる時間は最大23時間59分
 6. 録画するチャンネルを設定します。設定する項目を『方向』ボタンで選びます。
 - ・ 放送の種類→地デジ、BS、CS
 - ・ 放送メディア→テレビ、ラジオ (BS、110度CSのみ)、データ
 - ・ チャンネル→指定された放送の種類やメディアに該当するチャンネル
- 設定が終わったら『決定』ボタンを押します。

7. 『方向』ボタンで「録画予約」を選び、『決定』ボタンを押します。
8. 「予約を設定しました」が表示されたら、『決定』ボタンを押します。

使用するボタン

白い箇所が使用するボタン



録画・予約/再生

録画・予約をする

番組を検索して録画予約する

1. リモコンの『番組表』ボタンを押します。
2. 番組表が表示されたら『緑』ボタンを押します。
3. 録画予約したい番組を検索します。
4. 番組検索結果画面から、録画したい番組を『方向』ボタン▲▼で選び『決定』ボタンを押します。
5. 『方向』ボタンで録画予約を選び、『決定』ボタンを押します。
6. 再度『決定』ボタンを押すと予約が完了し、番組検索結果画面に戻ります。

録画予約の設定を変更する

1. 『番組表』表示中『サブメニュー』ボタンから「予約リスト」を選択し、詳細設定したい番組を選び、『決定』ボタンを押します。
2. 『方向』ボタンで「詳細設定」を選び、『決定』ボタンを押します。
3. 詳細設定を編集後、「設定完了」を選び、『決定』ボタンを押します。

項目	内容
保護	録画する番組を保護するかどうか選択できます(※録画後の設定も可能です)
チャプター設定	シーンの変わり目でチャプター分割(章分け)されるように設定できます。
放送時間	放送局から番組遅延情報が送信されると、最大3時間までの遅れに連動して録画をします。

※連ドラ予約をした番組の場合は、項目の表示が異なります。詳しくはP39をご覧ください。

4. 上記2.の画面で「マイフォルダ」を選ぶと、保存先に指定したフォルダの変更が可能です

使用するボタン

白い箇所が使用するボタン



録画・予約/再生

録画・予約をする

録画を中止する

録画中に録画を途中でやめる時は、下記の操作をします。ハードディスクの残量がなくなった場合は録画が自動的に停止します。

リモコンの『停止』ボタンを押すと、「録画を中止してもよろしいですか?」と表示されるので「はい」を選び、『決定』ボタンを押します。

予約の確認・予約の取消しをする

1. リモコンの『番組表』ボタンを押します。
2. リモコンの『サブメニュー』ボタンを押します。
3. メニューが表示されたら『方向』ボタン▲▼で「予約リスト」を選び、『決定』ボタンを押します。
4. 『方向』ボタン▲▼で予約を確認する番組を選び、『決定』ボタンを押します。この画面で予約の確認ができます。
5. 予約を取消しする場合には、『方向』ボタン◀▶で「はい」を選び、『決定』ボタンを押すと予約が取り消されます。

使用するボタン

白い箇所が使用するボタン

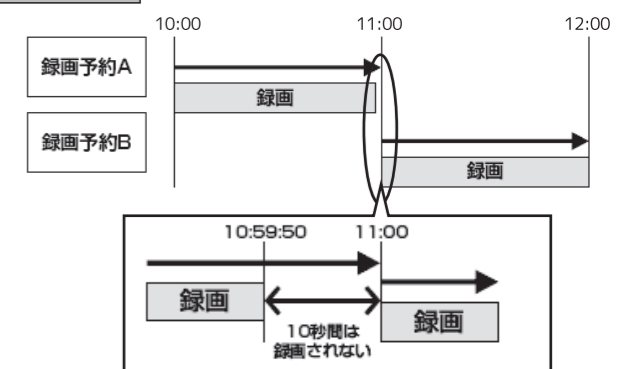


録画予約に関するお知らせ

録画動作について

【録画予約した番組の放送時間が連続する場合】

録画予約Aが10:00~11:00
録画予約Bが11:00~12:00の場合、
録画予約Aの終端10秒間は録画できません。

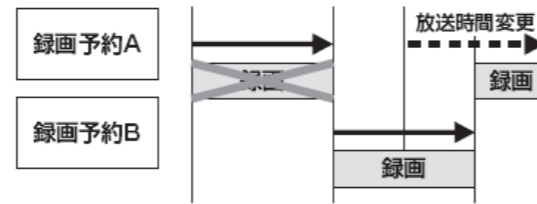


録画予約に関するお知らせ (つづき)

録画予約した番組が編成変更した場合の動作について

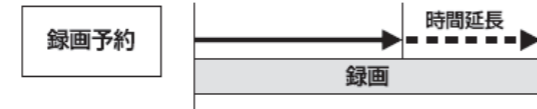
【録画予約した番組の放送開始時刻が変更され、他の録画予約と重複した場合】

録画予約Aの放送開始時刻が遅延し、録画予約Bの録画中の時間帯に変更された場合、録画を開始している録画予約Bが優先され、録画予約Bの録画終了後、録画予約Aの録画を開始します。



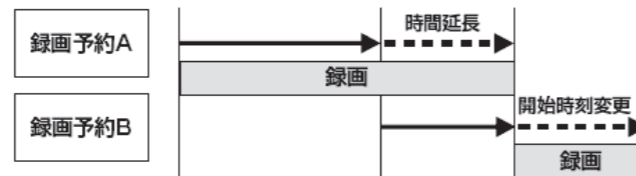
【録画予約した番組の放送時間が延長された場合】

放送時間延長分も含めて、全て録画されます。



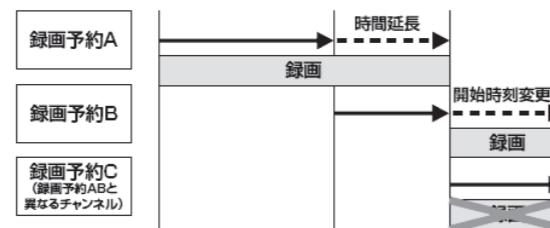
【録画予約した番組の放送時間が延長し、録画予約した次の番組の開始時刻が変更された場合】

録画予約Aの放送開始時刻が延長し、録画予約B (Aと同じチャンネル) の開始時刻が変更された場合、放送延長分も含めて、全て録画されます。



【録画予約した番組の開始時刻時間が変更され、他の録画予約と時間帯が重複した場合】

録画予約Aの放送時間が延長し、録画予約B (Aと同じチャンネル) の開始時刻が変更された場合、放送時間延長分も含めて、全て録画されます。但し、放送時間が重複した録画予約C (他チャンネル) は録画されません。



複数台のハードディスクを接続している場合は、「録画先」を選択してください。選択方法はP48「他の機器を選択する」をご覧ください。

再生の基本操作

1. リモコンの『録画リスト』ボタンを押すと、録画リストが表示されます。録画リストには、選択している番組の簡単な情報や録画可能時間などが表示されます。
2. 録画リストの表示を『10秒戻し』ボタン『30秒送り』ボタンで切り換えると、見たい録画番組の検索ができます。

すべて	すべての録画番組が表示されます。
未視聴	未再生の録画番組が表示されます。
曜日別	録画した曜日別に表示されます。
ジャンル別	ジャンル別に表示されます。番組表示がない場合は「その他」に分類されます。
連ドラ別	「連ドラ予約」の予約ごとに表示されます。
マイフォルダ別	フォルダ別に表示されます。

3. 『方向』ボタン▲▼で見たい番組を選び、『決定』ボタンを押します。

⚠ 注意

- ・選んだ番組の再生が始まります。(再生されるまでに時間がかかる場合があります。)
- ・番組冒頭部分の4秒間を飛ばして再生が始まりますが、故障ではありません。
- ・番組の最後まで再生が終わると、静止状態になりしばらくすると現在放送中の画面に戻ります。

4. 再生を停止させるには、リモコンの『停止』ボタンを押すか選局の操作などをすると現在放送中の画面に戻ります。

使用するボタン

白い箇所が使用するボタン



録画・予約/再生

録画した番組を再生・保護・削除する

続きから再生する

【レジューム再生】

再生する番組を選び、『決定』ボタンを押します。前回、再生を途中で停止した場合は、続きから再生されます。

番組の冒頭が再生する

【頭出し再生】











再生する番組にカーソルを合わせ、リモコンの『サブメニュー』ボタンを押します。メニューから「頭出し再生」を選び『決定』ボタンを押します。

録画中の番組を再生する

【追っかけ再生】

録画中の番組を『録画リスト』ボタンから選び、『決定』ボタンを押します。

録画番組の再生中にできるリモコン操作

録画リストボタン 	録画リストを表示します
早見早聞ボタン 	1度押すと通常再生します。もう一度押すと早見早聞再生をします。もう一度押すと通常再生に戻ります。
静止ボタン 	再生を一時停止します。再度押すと再生を再開します。
停止ボタン 	録画した番組の再生を停止します。
早戻しボタン 	再生中に押すと、早戻しをします。
早送りボタン 	再生中に押すと、早送りをします。
10秒戻し 	再生中に押すと、10秒程戻って再生します。
30秒送り 	再生中に押すと、30秒程先に進んで再生します。
スキップ前 	チャプター設定された番組は前の章へ。設定していない番組は前の番組へ移動します。
スキップ後 	チャプター設定された番組は次の章へ。設定していない番組は次の番組へ移動します。

使用するボタン

白い箇所が使用するボタン



録画番組の番組情報を見る

- 1.再生中に『画面表示』ボタンを押します。
- 2.番組の情報が表示されます。しばらくすると番組情報の表示は消えます。
- 3.表示を消すには、もう一度『画面表示』ボタンを押します。

録画番組の番組説明を見る

- 1.録画リスト表示中または番組再生中に『サブメニュー』ボタンを押します。
- 2.『方向』ボタン▲▼で「番組説明」を選択して『決定』ボタンを押します。
- 3.番組説明が表示されます。
- 4.『決定』ボタンを押すか、しばらく放置すると番組説明画面は消えます。

繰り返して再生をする【リピート再生】

- 1.録画リスト表示中に『サブメニュー』ボタンを押し、「再生設定」を選択し『決定』ボタンを押します。
- 2.『方向』ボタン▲▼で以下から選び、『決定』ボタンを押します

1コンテンツリピート	選択した1つの番組再生を繰り返します
リピート	すべての番組の連続再生を繰り返します
オフ	繰り返し再生を行いません

録画・予約/再生

録画した番組を再生・保護・削除する

使用するボタン

白い箇所が使用するボタン



録画・予約/再生

録画した番組を再生・保護・削除する

再生位置を指定して再生する【タイムサーチ再生】

1. 番組再生中に『サブメニュー』ボタンを押し「サーチ」を選択し『決定』ボタンを押します。
2. 画面右上に表示が現れます。
3. 『1~10』ボタンで時間を設定します。

録画した番組を並べ替える

1. 録画リスト表示中に『サブメニュー』ボタンを押し、「並べ替え」を選択し『決定』ボタンを押します。
2. 『方向』ボタン▲▼で以下から選び、『決定』ボタンを押します。

新しい順	日付の新しい順に表示されます
古い順	日付の古い順に表示されます

ハードディスクの残量を確認する

1. 録画リスト表示中に『サブメニュー』ボタンを押し、「ハードディスク残量表示」を選択し『決定』ボタンを押します。
2. 残量が表示されます。表示を消すには『決定』ボタンを押します。

機器の情報を確認する

1. 録画リスト表示中に『サブメニュー』ボタンを押し、「機器の情報」を選んで『決定』ボタンを押します。
2. 機器の情報が表示されます。情報画面を終了するには『決定』ボタンを押して下さい。

使用するボタン

白い箇所が使用するボタン



録画・予約/再生

録画した番組を再生・保護・削除する

他の機器を選択する

複数台のハードディスクを接続している場合に、ハードディスクを選択します。

1. 録画リスト表示中に『青』ボタンを押し、機器選択画面を表示します。
2. 使用する機器を『方向』ボタンで選び『決定』ボタンを押します。

録画した番組を保護する

録画した番組を誤って削除しないように保護することができます。

1. リモコンの『録画リスト』ボタンを押します。
2. 『方向』ボタン▲▼で保護する番組を選び、リモコンの『サブメニュー』ボタンを押し、『方向』ボタン▲▼で「保護」を選び、『決定』ボタンを押します。
3. 選択された番組が保護され、鍵マークが付きます。解除する場合は、保護されている番組を選び、リモコンの『サブメニュー』ボタンを押し、『方向』ボタン▲▼で「保護解除」を選び、『決定』ボタンを押します。 ※録画中にこの操作はできません。

録画した番組を削除する

1. リモコンの『録画リスト』ボタンを押します。
2. リモコンの『赤』ボタンを押すと、削除する項目が選択できます。保護されている録画番組を消すには、保護を解除してから『赤』ボタンを押してください。

次ページへ続く→

使用するボタン

白い箇所が使用するボタン



録画・予約/再生

録画した番組を再生・保護・削除する

録画した番組を削除する(つづき)

- 『方向』ボタン▲▼で「1件削除」または「複数削除」または「グループ内全削除」を選び、『決定』ボタンを押します。
- 確認画面で『方向』ボタン◀▶で「はい」を選び、『決定』ボタンを押します。複数削除する場合は、削除したい項目を選びます。『赤』ボタンを押します。
- 削除が終了したら、『決定』ボタンを押します。

録画した番組を自動的に消す(自動削除設定)

お買上げ時は、ハードディスクの容量が足りなくなった時に、保護されていない古い録画番組が自動的に削除されないよう設定されています。削除する場合は「削除する」に設定してください。

- リモコンの『録画リスト』ボタンを押します。
- リモコンの『サブメニュー』ボタンを押して、『方向』ボタン▲▼で「自動削除設定」を選び、『決定』ボタンを押します。
- 『方向』ボタン▲▼で「削除する」又は「削除しない」を選び、『決定』ボタンを押します。

⚠ 注意

- 録画開始直後の番組は、録画リストに表示されるまで少し時間がかかります。
- 録画リストに表示できる最大数は1000番組までです。

【録画した番組を項目別に確認する】

- ①リモコンの『録画リスト』ボタンを押します。
- ②リモコンの『10秒戻し』または『30秒送り』ボタンを押すと、項目ごとに録画した番組を確認できます。

使用するボタン

白い箇所が使用するボタン



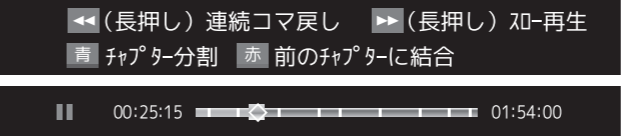
録画・予約/再生

録画した番組を編集する

チャプターの編集をする

録画済番組の再生中にチャプターの分割と結合ができます。

※録画中にこの操作はできません。

- リモコンの『録画リスト』ボタンを押します
- チャプター編集をしたい番組を選び『決定』ボタンを押して番組を再生します。
- 録画再生中、にチャプター分割をしたい場面で『静止』ボタンを押すと、画面右下に操作ガイドが表示されます。

- 『青』ボタンを押すとチャプターが分割され、『赤』ボタンを押すとチャプターが結合されます。
- 必要に応じて手順3~4を繰り返します。

使用するボタン

白い箇所が使用するボタン



録画・予約/再生

録画した番組を編集する

グループ名を変更する

録画リストの「マイフォルダ別」「連ドラ別」で表示されるグループ名を変更できます。

「連ドラ別」の場合には、グループ名を変更すると予約リストの予約番組名も同じ名前に変更されます。

※録画中にこの操作はできません。

※連ドラ録画をしないと「連ドラ別」メニューは表示されません。

1. リモコンの『録画リスト』ボタンを押し「マイフォルダ別」または「連ドラ別」のリストを表示させます。 ※表示方法は P44 を参照してください。
2. 名前を変更したいグループのタブを『方向』ボタン◀▶で選択します。



3. 『サブメニュー』ボタンを押し『方向』ボタン▲▼と『決定』ボタンを使用し「編集・管理」→「マイフォルダ管理」→「フォルダ名の変更」を選択します(「連ドラ別」を変更する場合は「編集・管理」→「連ドラグループ名の変更」を選択します)

4. 文字入力画面でお好みのグループ名を入力します。全角文字で10文字まで入力可能です。(文字入力のしかたはP23をご覧ください)

使用するボタン

白い箇所が使用するボタン



録画・予約/再生

録画した番組を編集する

録画番組を他のグループに移動する

録画番組のグループを移動できます。

※録画中にこの操作はできません。

1. リモコンの『録画リスト』ボタンを押し「マイフォルダ別」のリストを表示させます。
2. 移動したい番組が保存されているグループのタブを『方向』ボタン◀▶で選びます。
3. 移動したい番組を『方向』ボタン▲▼で選びます。
4. 『サブメニュー』ボタンを押し『方向』ボタン▲▼と『決定』ボタンを使用し「編集・管理」→「マイフォルダ管理」→「マイフォルダの変更」を選択します。
5. 以下のメニューから選択をし『決定』ボタンを押します。

1件変更	選択中の番組を別のグループに移動します。
複数変更	複数の番組を選択して、まとめて別のグループに移動します。
グループ内全変更	選択中のグループの全番組を別のグループに移動します。

6. 移動先のグループを『方向』ボタン▲▼で選び『決定』ボタンを押します。

次ページへ続く→

使用するボタン

白い箇所が使用するボタン



録画・予約/再生

録画した番組を編集する

録画番組を他のグループに移動する(つづき)

7. 「複数変更」の場合は移動する番組を『方向』ボタン▲▼で選び『決定』ボタンを押して番組名の前にチェックマークを付けます。全て選択したら『黄』ボタンを押します。



8. 確認画面で「はい」を選んで『決定』ボタンを押します。

使用するボタン

白い箇所が使用するボタン



録画・予約/再生

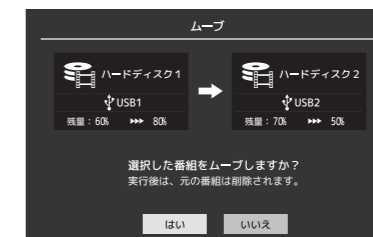
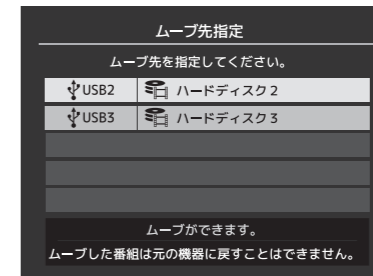
録画した番組を編集・ムーブする

録画番組を他の録画機器にムーブ(移動)する

本機で録画した番組を、他の機器にムーブできます。

※録画中や再生中のムーブは出来ません。

1. リモコンの『録画リスト』ボタンを押します。
2. ムーブする番組を『方向』ボタン▲▼で選び、『黄』ボタンを押します。
3. 『方向』ボタン▲▼で「1件ムーブ」または「複数ムーブ」を選び『決定』ボタンを押します。
4. ムーブ先を『方向』ボタン▲▼で選び『決定』ボタンを押します。
※ムーブ先指定はUSBハードディスクが3つ以上接続されている場合にのみ表示されます。
5. 「複数ムーブ」の場合は移動する番組を『方向』ボタン▲▼で選び『決定』ボタンを押してチェックマークを付けます。全て選択したら『黄』ボタンを押します。
※保護された番組をムーブする場合は、『青』ボタンで保護を解除してからチェックマークをつけて下さい。
※一度にムーブ出来るのは16番組までです。
6. ムーブ画面で「はい」を選択し『決定』ボタンを押します。ムーブが始まると、画面右下に進行状況が表示されます。



※ムーブを中止する時は『終了』ボタンまたは『停止』ボタンを押し、次の画面で「はい」を選んで『決定』ボタンを押してください。

使用するボタン

白い箇所が使用するボタン



サブメニューボタンでできること

時計・タイマー機能

リモコンの『サブメニュー』ボタンを押して「時計」を選び、『決定』ボタンを押します。

アラーム設定

設定した時刻にアラームでお知らせします。本機の電源が待機状態のときは、電源が「入」になります。『方向』ボタン▲▼で「アラーム設定」を選び、『決定』ボタンを押します。

アラーム設定	
アラーム	アラームの「オン」「オフ」を設定します『青』ボタンを押すたびに切り換えが可能です。
日時	アラームでお知らせする日時の設定を行います。
サウンド	アラームでお知らせする効果音を設定します。『黄』ボタンで試聴ができます。
音量	アラームでお知らせする音量を設定します。『黄』ボタンで音量の確認ができます。
チャンネル	アラーム後に画面に映すチャンネルを設定します※録画時は、録画中のチャンネルが優先されます

※アラームが動作すると、設定したアラームが鳴り停止画面が表示されます。「停止」「スヌーズ」から選択ができます。アラームを停止しないと、「5分後に停止→5分間無音→再度アラームが鳴る」動作を、アラームを停止するまで繰り返します。

オフタイマー設定

設定時間後に電源が切れて待機状態になります。『方向』ボタン▲▼で「オフタイマー設定」を選び、『決定』ボタンを押し、お好みの時間を設定します。

※電源が切れる1分前になると、画面にメッセージが表示されます。
※設定後に電源を切ったり待機にすると設定が取り消されます。

時計表示

画面に時計を表示させます。『方向』ボタン▲▼で「時計表示」を選び、『決定』ボタンを押します。「オン」を選ぶと画面右上に時計を表示します。

サブメニューボタンでできること

画面サイズ切換/番組表やスピーカー切換など

画面サイズを変える

視聴している番組に適した画面サイズを選ぶことができます。

1. リモコンの『サブメニュー』ボタンを押して「画面サイズ切換」を選び、『決定』ボタンを押します。
2. お好みの画面サイズを『方向』ボタン▲▼で選び、『決定』ボタンを押します
3. メニューに「▶」マークが表示される時は、『方向』ボタン▶を押し必要に応じてお好みのモードを選択してください。「ジャストスキャン」「オーバースキャン」から選択できます。

ジャストスキャン	16:9の映像を画面内におさまるように表示します。
オーバースキャン	16:9の映像を少し大きめに表示します。

選択できる画面サイズは映像によって異なります。下表をご確認ください。

【放送番組やビデオ入力端子からの映像を見ているとき】

映像の種類	選択できる画面サイズ
デジタル放送 4:3の映像 (480p, 480i)映像入力端子	ワイド、ズーム、映画字幕、フル、ノーマル
デジタル放送の 16:9の映像	ワイド、ズーム、フル 放送中に画面サイズを変更した番組は、選択した画面サイズが保持されます。番組終了後、選局操作をすると「フル」に戻ります。電源の入/切で「フル」に戻ります。

【HDMI入力端子からの映像を見ているとき】

映像や信号フォーマットの種類	選択できる画面サイズ
480i、480p	ワイド、ズーム、映画字幕、フル、ノーマル、Dot By Dot
VGA、SVGA、XGA、SXGA、720p	ワイド、ズーム、フル、ノーマル、Dot By Dot

【映像モードを「ゲーム」にしているとき】

映像や信号フォーマットの種類	選択できる画面サイズ
ビデオ入力端子	ゲームフル、ゲームノーマル
HDMI入力端子	ゲームフル、ゲームノーマル、Dot By Dot

【画面の見え方】

入力	画面サイズ	画面の見え方	説明
4:3	ワイド		4:3の映像をワイド画面で表示します。画面左右の端にいくほど映像が引き伸ばされます。
	ズーム		上下が黒い帯になっている映画などのワイド映像（レターボックス「LB」）を拡大します。
	映画字幕		レターボックスのワイド映像の下に字幕がはいつている場合に、字幕を隠れにくくするモードです。
	フル		DVDソフトなどのスクイーズ映像（縦に伸びて見える映像）を、ワイド映像で表示します。
	ノーマル		4:3の映像をそのままの横縦比で表示します。
16:9	フル		16:9の映像を画面いっぱいに表示します。
	ワイド		左右に帯のある16:9の映像をワイド画面で表示します。画面左右の端にいくほど映像が引き伸ばされます
	ズーム		上下左右に帯のある16:9の映像をワイド画面で表示します。
ゲーム	ゲームフル		ゲーム映像を画面いっぱい拡大して表示します。
	ゲームノーマル		ゲーム映像をそのままの横と縦の比で表示します。（図は4:3の例です）
HDMI	Dot By Dot		入力信号の解像度そのまま画面に表示します。映像のない部分は黒く表示されます。4:3の例です）

サブメニューボタンでできること

画面サイズ切換/番組表やスピーカー切換など

番組説明

画面に番組内容が表示されます。リモコンの『サブメニュー』ボタンを押して「番組説明」を選び、『決定』ボタンを押します。または、リモコンの『番組説明』ボタンを選び、『決定』ボタンを押します。

スピーカー切換

スピーカーの切り換えができます。リモコンの『サブメニュー』ボタンを押して「スピーカー切換」を選び、『決定』ボタンを押します。

※「外部スピーカー」を選択するとテレビのスピーカーから音は出ません。
※「外部スピーカー出力設定」が「固定」の場合は、接続した外部音声出力機器で音量を調節します。

詳しくはP61をご覧ください。

字幕

字幕放送番組で字幕の表示/非表示を切り換えます。

予約リスト

予約リストを表示します。

連ドラ予約

リモコンの『サブメニュー』ボタンを押して「連ドラ予約」を選び、『決定』ボタンを押します。
詳しくはP39をご覧ください。

その他の操作

リモコンの『サブメニュー』ボタンを押して「その他の操作」を選び、『決定』ボタンを押します。

アンテナレベル表示

受信中の放送波のアンテナレベルの確認をすることができます。「アンテナレベル表示」を選び、『決定』ボタンを押します。『方向』ボタン◀▶で伝送チャンネルを選択することができます。

テレビ/ラジオ/データ切換

放送局がラジオ・データ切換に対応している時に切り換えることができます。「テレビ/ラジオ/データ切換」を選び、『決定』ボタンを押します。

サブメニューボタンでできること

その他の操作

データ放送終了

データ放送を終了することができます。「データ放送終了」を選び、『決定』ボタンを押します。

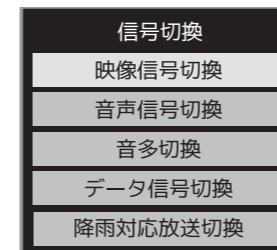
親切ヘッドホン音量

ヘッドホンモードが「親切モード」の時の音量を調節します。リモコンの『サブメニュー』ボタンを押して「その他の操作」を選び、『決定』ボタンを押します。「親切ヘッドホン音量」を選び、『決定』ボタンを押します。『方向』ボタン◀▶または『音量』ボタンで調節を行います。「親切モード」についてはP61をご覧ください。

※ヘッドホンを接続していない時は、選択できません。

信号切換

放送局が信号切換に対応している時に切り換えることができます。「映像信号切換」「音声信号切換」「音多切換」「データ信号切換」「字幕切換」「降雨対応放送切換」の項目があります。「信号切換」を選び、『決定』ボタンを押します。



【降雨対応放送について】

BSデジタル放送や110度CSデジタル放送を視聴中、雨や雪などで衛星からの電波が弱まった場合、放送局が運用していれば、降雨対応放送に切り換えて見ることができます。

※降雨対応放送は、通常の放送よりも画質が低下します。
※「音声信号切換」「音多切換」は、『音声切換』ボタンで選択する機能と同じです。

電波の受信状態が良くありません。
メニューから降雨対応放送に切り換えられます。

コード：E201

※降雨対応放送をやめるには、『通常の放送』を選択してください。

チャンネル番号入力

「チャンネル番号入力」を選び、『決定』ボタンを押します。『数字』ボタンで直接チャンネルを選局することができます。

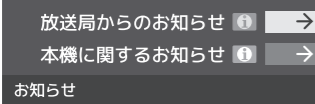
例) チャンネルの『023』を選局するときは、数字ボタン『10』→『2』→『3』を順に押します。リモコンの『3桁入力』ボタンを押しても入力することができます。

サブメニューボタンでできること

その他の操作

お知らせ

1.「お知らせ」を選び、『決定』ボタンを押します。



2.『方向』ボタン▲▼でお知らせの種類を選び、『決定』ボタンを押します。

放送局からのお知らせ	デジタル放送局からのお知らせです。
本機に関するお知らせ	予約等について本機が発行したお知らせです。
ボード	110度CSデジタル放送の視聴者に向けたお知らせです。

- 画面に「本機のお知らせを確認」が表示されたときは『青』ボタンを押すと「本機に関するお知らせ」が表示されます。

青 本機のお知らせを確認

【「本機に関するお知らせ」を削除する場合】
削除できるのは「本機に関するお知らせ」のみです。

1.「本機に関するお知らせ」の画面で、リモコンの『青』ボタンを押します。

2.『方向』ボタン◀▶で「はい」を選び、『決定』ボタンを押します。

※「本機に関するお知らせ」すべてが削除されます。

注意

- 『放送局からのお知らせ』は、地上デジタルが7通まで記憶され、BSデジタルと110度CSデジタルは合わせて24通まで記憶されます。(放送局の運用によっては、それよりも少ない場合もあります。) 記憶できる数を超過して受信した場合は、古いものから順に削除されます。
- 『本機に関するお知らせ』は既読の古いものから順に削除される場合があります。
- 『ボード』は、110度CSデジタル放送のそれぞれに対し、今送信されているものが50通まで表示されます。

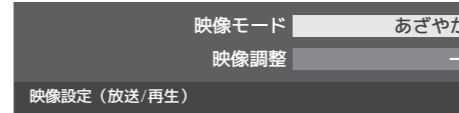
ソフトウェアバージョン

「ソフトウェアバージョン」を選び、『決定』ボタンを押します。現在のソフトウェアのバージョンを確認することができます。

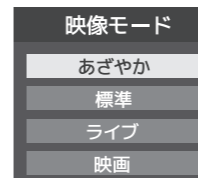
各種設定

映像設定

リモコンの『設定』ボタンを押して「映像設定」を選び、『決定』ボタンを押します。



映像モード



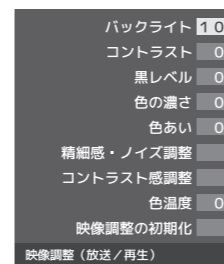
『方向』ボタン▲▼で項目を選び、『決定』ボタンを押します。

※それぞれ、映像調整することができます。映像調整をしたら項目右横に『：メモリー』と表示され、保持されます。

映像モード	
あざやか	日中の明るいリビングで迫力ある映像を楽しむときに適した設定です。
標準	落ち着いた雰囲気を楽しむときに適した設定です。
ライブ	暗くした部屋でテレビ番組を見るときに適した設定です。
映画	暗くした部屋で映画を見るときに適した設定です。
ゲーム	ゲームのレスポンスを重視した設定です。(HDMI 入力、ビデオ入力の時に設定できます)
PC	パソコン画面の表示に適した設定です。(HDMI 入力の時に設定できます)

映像調整 (放送/再生)

お好みに合わせて調整してください。調整した内容は保存されます。



映像調整 (放送/再生)	
バックライト	バックライトの明るさをお好みによって調整できます。
コントラスト	設定値が低いほど明暗の差が弱まり、設定値が高いほど明暗の差が強調されます。
黒レベル	設定値が低いほど暗く、設定値が高いほど明るくなります。
色の濃さ	設定値が低いと色が薄く、設定値が高いと色が濃くなります。
色あい	設定値が低いと紫っぽく、設定値が高いと緑っぽくなります。
精細感・ノイズ調整	画質の精細感やノイズを調節します「シャープネス」「ピクチャーエンハンサー設定」「MPEG (エムペグ) NR」「ダイナミックNR」「ファインシネマ」から選択できます。それぞれの詳細は右の詳細設定一覧をご覧ください。
コントラスト感調整	「ダイナミックバックライト制御」「ダイナミックガンマ」「ガンマ調整」の調節を行います。それぞれの詳細は右の表をご覧ください。
色温度	色をきめ細かく再現することができます。
映像調整の初期化	映像メモリー調整を初期設定に戻します。

詳細調整	
シャープネス	設定値が低いほど輪郭がぼやけ、設定値が高いほど輪郭がくっきり表示されます。
ピクチャーエンハンサー設定	ピクチャーエンハンサーの機能を設定します。「オフ」に設定した場合は、「ゲイン調整」は機能しません。ゲイン調整の数値が大きくなるほど、映像の精細感が強調されます。
MPEG (エムペグ) NR	動きの速い映像のブロックノイズと、モスキートノイズを減らす機能です。
ダイナミックNR	映像のざらつきやちらつきを減らす機能です。
ファインシネマ	映画ソフト (フィルム映像) のもつスムーズな映像の動きと画質を再現します。 ※映像によっては、効果がわかりにくい場合があります。 ※映像に違和感がある場合は、『オフ』に設定してください。
ダイナミックバックライト制御	映像の明るさに応じてバックライトの明るさを自動調整し、メリハリのある映像にします。 ・オン: ヒストグラムバックライト制御の機能が働きます。 ・オフ: この機能は働きません。
ダイナミックガンマ	映像の内容に応じて、暗い部分から明るい部分にかけての階調が自動的に調整されます。
ガンマ調整	映像の暗い部分と明るい部分の階調バランスを調整します。

各種設定

音声設定

高音	00
低音	00
バランス	中央
デジタル音声出力	PCM
デジタル音声出力タイミング	-01
ヘッドホン/音声出力設定	→
音声設定 (放送/再生)	

リモコンの『設定』ボタンを押して「音声設定」を選び、『決定』ボタンを押します。

高音

高音の強さを調整します。「-20」～「+20」の範囲で調整できます。

低音

低音の強さを調整します。「-20」～「+20」の範囲で調整できます。

バランス

左右の音声出力のバランスを調整します。

バランス 中央 左 ————— 右

デジタル音声出力

デジタル音声出力端子から出力する音声信号を設定します。お買上げ時は「PCM」に設定されています。MPEG-2 AACデコーダーやAACデコーダー内蔵アンプをつなぐ時は「デジタルスルー」又は「サラウンド優先」に設定してください。

デジタル音声出力	
PCM	リニアPCM信号が出力されます。
デジタルスルー	MPEG-2 AAC信号の場合、その信号が出力されます。
サラウンド優先	MPEG-2 AAC信号で、サラウンド音声（5.1chや4.1chサラウンド音声など）の場合には、それらの信号が出力されます。それ以外の場合にはリニアのPCM信号が出力されます。

デジタル音声出力タイミング

デジタル音声出力端子から出力するデジタル音声信号のタイミングを設定することができます。「-3」～「0」の範囲で調整できます。（映像の遅延が小さい場合、設定を変えても音声のタイミングは変わりません。）

ヘッドホン/音声出力設定

ヘッドホン/音声出力端子の設定をします。「出力設定」「ヘッドホンモード」「外部スピーカー出力設定」の設定ができます。

出力設定

ヘッドホン/外部スピーカーに接続する機器にあわせて設定します。

※ヘッドホンで聴くときは、必ず「ヘッドホン」に設定してください。

ヘッドホンモード

「出力設定」で「ヘッドホン」を選んだときに設定します。

ヘッドホンモード	
通常モード	ヘッドホンのプラグを差し込むとスピーカーの音が消え、ヘッドホンから音が出ます。
親切モード	スピーカーとヘッドホンの両方から音が出ます。音量の調整についてはP58をご覧ください。

外部スピーカー出力設定

「出力設定」で「外部スピーカー」を選んだときに設定します。

外部スピーカー出力設定	
固定	ヘッドホン/音声出力端子から一定の音量レベルで音声出力されます。音量調節は接続した外部機器で行います。
可変	ヘッドホン/音声出力端子からの音量を本機のリモコンで調整できます。

各種設定

機能設定

リモコンの『設定』ボタンを押して「機能設定」を選び、『決定』ボタンを押します。

省エネ設定

省エネ設定では右記の設定を行います。

節電モード	標準
番組情報取得設定	取得する
無操作自動電源オフ	動作しない
オンエア無信号オフ	待機にする
外部入力無信号オフ	待機にする
省エネ設定	

節電モード	バックライトの明るさを調整し消費電力をお好みに調整できます。
番組情報取得設定	電源待機時に地上デジタル放送の番組情報を自動的に取得するかしないかを選択します。
無操作自動電源オフ	テレビの無操作状態が約3時間続くと、電源が切れ待機状態にするかしないかを選択します。
オンエア無信号オフ	放送受信時に、無信号状態が約15分間続くと、電源が切れ待機状態にするかしないかを選択します。
外部入力無信号オフ	外部入力選択時に、無信号状態が約15分間続くと、電源が切れ待機状態にするかしないかを選択します。

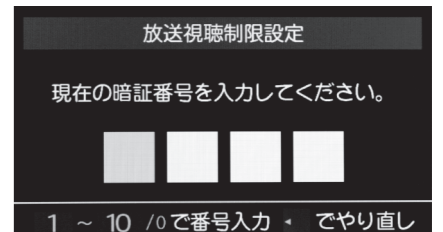
視聴制限設定

視聴制限設定では視聴年齢制限設定、暗証番号設定、暗証番号削除を設定できます。

※視聴年齢制限のある番組を見るには、暗証番号の設定が必要です。

【暗証番号の設定】

1. 「暗証番号設定」を選び、『決定』ボタンを押します。
2. 『1～10の数字』ボタンで暗証番号を入力します。入力後確認のためもう1度入力画面が出ますので、再度入力して『決定』ボタンを押します。



【暗証番号の削除】

1. 「暗証番号削除」を選び、『決定』ボタンを押します。
2. 『1～10の数字』ボタンで暗証番号を入力し、『決定』ボタンを押します。
3. 『方向』ボタン◀▶で「はい」を選択し、『決定』ボタンを押すと削除されます。

次ページへ続く→

各種設定

機能設定

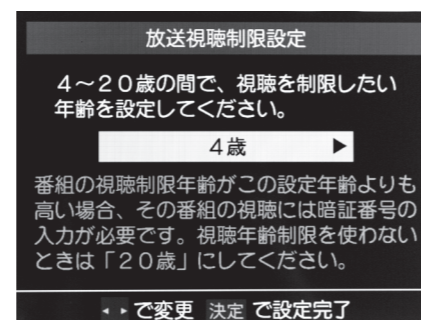
視聴制限設定(つづき)

【放送視聴制限設定】

デジタル放送では番組ごとに視聴年齢が設定されている場合があります。視聴年齢制限のある番組を見るには暗証番号および以下の設定が必要です。

1. 「放送視聴制限設定」を選び、『決定』ボタンを押します。
2. 『1～10の数字』ボタンで暗証番号を入力します。
3. 『方向』ボタン◀▶で年齢を選択し、『決定』ボタンを押します。

※視聴年齢制限を使わないときは『20歳』にしてください。



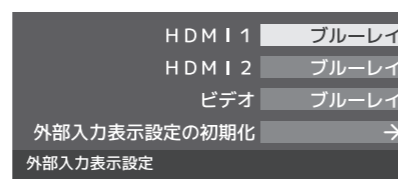
※設定できる年齢は4歳から20歳までです。

外部入力設定

外部入力のさまざまな機能を設定できます。必要に応じて設定をしてください。

【外部入力表示設定】

入力切替をしたときに表示される機器の名称(ブルーレイ、DVDなど)を変更することができます。



【外部入力スキップ設定】

入力切替をする時に、使っていない入力をスキップすることができます。

1. 「外部入力スキップ設定」を選び、『決定』ボタンを押します。
2. 設定する外部入力を『方向』ボタン▲▼で選び、『決定』ボタンを押します。

※決定ボタンを押すたびにスキップが『する』『しない』に切り換ります。



次ページへ続く→

各種設定

機能設定

外部入力設定(つづき)

【RGBレンジ設定】

通常は「オート」でご使用ください。機器のRGBレンジが認識できない場合は、機器の仕様に合わせて設定をしてください。

1. 「RGBレンジ設定」を選び、『決定』ボタンを押します。
2. 設定するHDMIを『方向』ボタン▲▼で選び、『決定』ボタンを押します。
3. 設定する項目を『方向』ボタン▲▼で以下の設定から選び、『決定』ボタンを押します。



オート	自動識別します。
フルレンジ	RGBレンジ0～255の場合に選びます。
リミテッドレンジ	RGBレンジ16～235の場合に選びます。

【ビデオ音声入力設定】

HDMI入力2に接続した機器からの音声を本機から出したいときに、ビデオ入力の音声入力端子をHDMI入力2のアナログ音声入力端子として使用するよう設定できます。

1. 「ビデオ音声入力設定」を選び、『決定』ボタンを押します。
2. 『方向』ボタン▲▼で「ビデオ音声」または「HDMI音声」から選び、『決定』ボタンを押します。

ビデオ音声	ビデオ入力の音声入力端子として使用します。
HDMI2アナログ音声	HDMI入力2のアナログ音声入力端子として使用します。

各種設定

外部機器設定

リモコンの『設定』ボタンを押して「外部機器設定」を選び、『決定』ボタンを押します。

USB ハードディスク設定

USBハードディスクの設定を行います。操作手順はP33~37をご覧ください。

各種設定

外部機器設定

リモコンの『設定』ボタンを押して「外部機器設定」を選び、『決定』ボタンを押します。

録画再生設定

「録画再生設定」を選び、『決定』ボタンを押します。

【録画基本設定】

録画に使用する機器とチャプターについての設定を行います。

録画先

外付けHDDを複数台接続している時に録画先を選択します。

チャプター設定

録画した番組が、シーンの変わり目でチャプター分割(章分け)されるように設定を行います

チャプター設定

本編
音楽
本編と音楽
オフ

本編	本編とCMの間でチャプター分割されます。
音楽	楽曲の前後でチャプター分割されます。
本編と音楽	上記の両条件でチャプター分割されます。
オフ	チャプター分割をしません。

※音楽の検出は番組のメインジャンルが「音楽」またはサブジャンルが「音楽バラエティ」の時にのみ適応されます。

【ワンタッチスキップ設定】

録画番組の再生中にリモコンの『30秒送り』ボタンを押すと、見たくないシーンなどを少し飛ばして見ることができます。お買い上げ時の設定では、30秒後のシーンに飛ぶようになっています。(リモコンには、お買い上げ時の動作『30秒送り』が表示されています)飛ばす時間を変更することができます。

【ワンタッチリプレイ設定】

録画番組の再生中に『10秒戻し』ボタンを押すと、見逃したシーンなどを少し戻って見ることができます。お買い上げ時の設定では、10秒前のシーンに戻るようになっています。(リモコンには、お買い上げ時の動作『10秒戻し』が表示されています)戻す時間を変更することができます。

録画基本設定	→
ワンタッチスキップ設定	30秒
ワンタッチリプレイ設定	10秒
録画再生設定	

各種設定

外部機器設定

リモコンの『設定』ボタンを押して「外部機器設定」を選び、『決定』ボタンを押します。

HDMI 連動設定

1. 「HDMI連動設定」を選び、『決定』ボタンを押します。
2. 設定する項目を『方向』ボタン▲▼で以下の設定から選び、『決定』ボタンを押します。

HDMI 連動機能	使用する
リモコン動作モード	テレビ優先
連動機器→テレビ入力切換	連動する
連動機器→テレビ電源	連動する
テレビ→連動機器電源オフ	連動する
サウンドシステム連動	使用する
優先スピーカー	テレビスピーカー

HDMI連動機能	HDMIの各種連動制御を使用するかどうかを設定します。
リモコン動作モード	リモコン動作モードに対応したレコーダーを接続している場合、『連動機器優先』に設定すると、本機のリモコンでレコーダーを操作できる機能がふえます。
連動機器→テレビ入力切換	連動機器の再生操作をした時に、本機が自動的に入力切換をして、その機器の選択をする機能です。(本機の電源『入』の場合。)
連動機器→テレビ電源	連動機器の電源を入れた時に、本機が自動的に電源を入れます。
テレビ→連動機器電源オフ	本機の電源を切った時に、連動機器が自動的に電源を切ります。
サウンドシステム連動	『使用する』に設定すると、CEC対応のオーディオ機器とそのスピーカーを接続している場合、本機のリモコンで以下のことができます。 ・音声をテレビから出すか、オーディオ機器のスピーカーから出すかの切換え ・オーディオ機器の音量調節や消音 ・本機が認識できるオーディオ機器は1台のみです。
優先スピーカー	サウンドシステム連動を『使用する』に設定した場合に、優先するスピーカーを選択します。 ・テレビスピーカー:本機のスピーカーから音声が出ます。 ・AVシステムスピーカー:オーディオ機器の電源が『入』のときは、オーディオ機器のスピーカーから音声が出ます。 ※本機のヘッドホン端子は、本機のスピーカーから音声がでる条件のときに使用できます。

※接続した機器は CEC 機能を対応できる、また CEC 機能を ON に設定した時のみ機能します。詳しくは接続した機器の取扱説明書をご確認ください。

各種設定

初期設定

リモコンの『設定』ボタンを押して「初期設定」を選び、『決定』ボタンを押します。

はじめての設定	→
アンテナ設定	→
チャンネル設定	→
データ放送設定	→
通信設定	→
B-CASカードの確認	→
ソフトウェアのダウンロード	→
設定の初期化	→

はじめての設定

引越などでお住まいの地域が変わった時には「はじめての設定」を行ってください。操作手順はP14・15をご覧ください。

アンテナ設定

アンテナの方向調整と設定を行います。操作手順はP16・17をご覧ください。

チャンネル設定

【地上デジタル自動設定】

引越した場合などこのメニューからチャンネルを設定してください。状況に応じて下記のスキャン方法を選びます。「チャンネル設定」→「地上デジタル自動設定」を選び『決定』ボタンを押します。

初期スキャン	本機設置後、地上デジタル放送を視聴するために初めて行う設定です。他の地域へ引越した場合にも設定が必要となります。なお、本スキャンを行うと地上デジタル放送に関するチャンネル設定がすべて消去されますのでご注意ください。
再スキャン	新しい放送局が開局したとき、中継局が新しく設置された場合や、伝送チャンネルが変更した場合などに行う設定です。本スキャンにより、現在受信できる地上デジタル放送のチャンネルを更新することができます。
自動スキャン	本スキャンにより、電源待機時などに自動的に伝送チャンネルをスキャンし放送局の開局や、伝送チャンネルの変更などに対して、地上デジタル放送の受信チャンネルを自動的に更新することができます。

次ページへ続く→

各種設定

初期設定

チャンネル設定(つづき)

【手動設定】

リモコンの数字キーにどのチャンネルを割り当てるかを設定します。

「チャンネル設定」→「手動設定」を選び『決定』ボタンを押します。

1. 『方向』ボタン▲▼で変更したい放送の種類を選択し、『決定』ボタンを押します。

リモコン	チャンネル	放送局
1	テレビ	NHK総合・東京
2	テレビ	NHK Eテレ東京
3	---	
4	テレビ	日本テレビ
5	テレビ	テレビ朝日
6	テレビ	

2. 『方向』ボタン▲▼で設定したいチャンネルを選び『決定』ボタンを押します。

3. 『方向』ボタンで各項目を設定し、「設定完了」を選び『決定』ボタンを押します。 ※BS/110度CSも同様の設定となります。

【設定の初期化】

チャンネルの設定をお買上げ時の状態に戻します。

1. 「設定の初期化」を選び、『決定』ボタンを押します。
2. 『方向』ボタン◀▶で「はい」または「いいえ」を選び、『決定』ボタンを押します。

【チャンネルスキップ設定】

チャンネル切換ボタンで選局する時に、不要なチャンネルをスキップすることができます。

1. 「チャンネルスキップ設定」を選び、『決定』ボタンを押します。
2. 『方向』ボタン▲▼で設定したい放送の種類を選択し、『決定』ボタンを押します。
3. スキップ設定を変更したいチャンネルを『方向』ボタン▲▼で選び、『決定』ボタンを押します。

チャンネル	放送局	スキップ
地デジ011	NHK総合1・東京	受信
地デジ012	NHK総合2・東京	受信
地デジ021	NHK Eテレ1東京	受信
地デジ022	NHK Eテレ2東京	スキップ
地デジ023	NHK Eテレ3東京	スキップ
地デジ031	テレ玉1	受信

※決定ボタンを押すたびに『受信』と『スキップ』が交互に切り換ります。
※デジタル放送の放送メディア(テレビ/ラジオ/データ)を変える時は、『青』ボタンを押します。

各種設定

初期設定

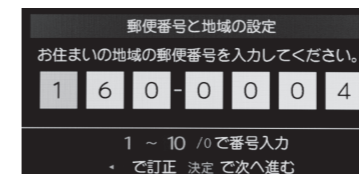
データ放送設定

データ放送を見る際の設定を行います。「データ放送設定」を選び、『決定』ボタンを押します。

【郵便番号と地域の設定】

お住まいの郵便番号を入力しておくことにより、データ放送において、地域の情報を得ることができます。

1. お住まいの地域の郵便番号を入力します。



2. 『方向』ボタンでお住まいの地方を選択し、『決定』ボタンを押します。

3. 『方向』ボタンでお住まいの地域を選択し、『決定』ボタンを押すと設定完了です。

【文字スーパー表示設定】

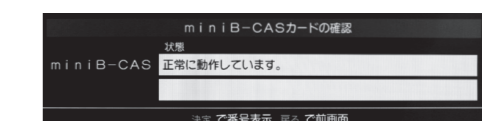
見ている番組とは連動せずに速報ニュースなどを表示するものです。「文字スーパー表示設定」を選び『決定』ボタンを押します。「表示する」または「表示しない」を設定できます。

通信設定

LAN端子の接続をした場合に設定します。操作手順はP25~27をご覧ください。

B-CASカードの確認

「B-CASカードの確認」を選び、『決定』ボタンを押すと、mini B-CASカードの状態が表示されます。



もう一度『決定』ボタンを押すと、認識番号・ID番号が表示されます。

各種設定

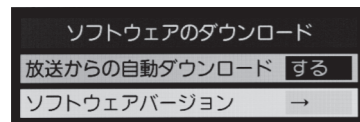
初期設定

ソフトウェアのダウンロード

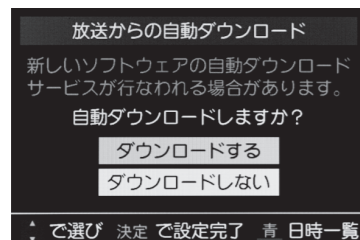
ソフトウェア自動更新の設定や、ソフトウェアバージョンを確認できます。

【放送からのダウンロード】

1. 「ソフトウェアのダウンロード」→「放送からの自動ダウンロード」を選び、『決定』ボタンを押します。



2. 『方向』ボタン▲▼で「ダウンロードする」または「ダウンロードしない」を選択し、『決定』ボタンを押します。



【ソフトウェアバージョン】

「ソフトウェアバージョン」を選び、『決定』ボタンを押すと現在のソフトウェアバージョンを表示します。

⚠ 注意

- ・『ダウンロードする』に設定しておく、新しいソフトウェアが配信された際、自動的にダウンロードと更新が行われます。
- ・『ダウンロードしない』に設定している場合は、『お知らせ(メール)』の『本機に関するお知らせ』に、ソフトウェア配信の日時を知らせるメールが届きます。配信日までに『ダウンロードする』に設定してください。
- ・本体の電源がOFFになっていると、ソフトウェアのダウンロードを行えません。コンセントを抜かないようにご注意ください。
- ・アンテナ受信レベルが低い場合、ソフトウェアのダウンロードは行えません。NHKのアンテナレベルが50以上になるようアンテナを調整してください。

設定の初期化

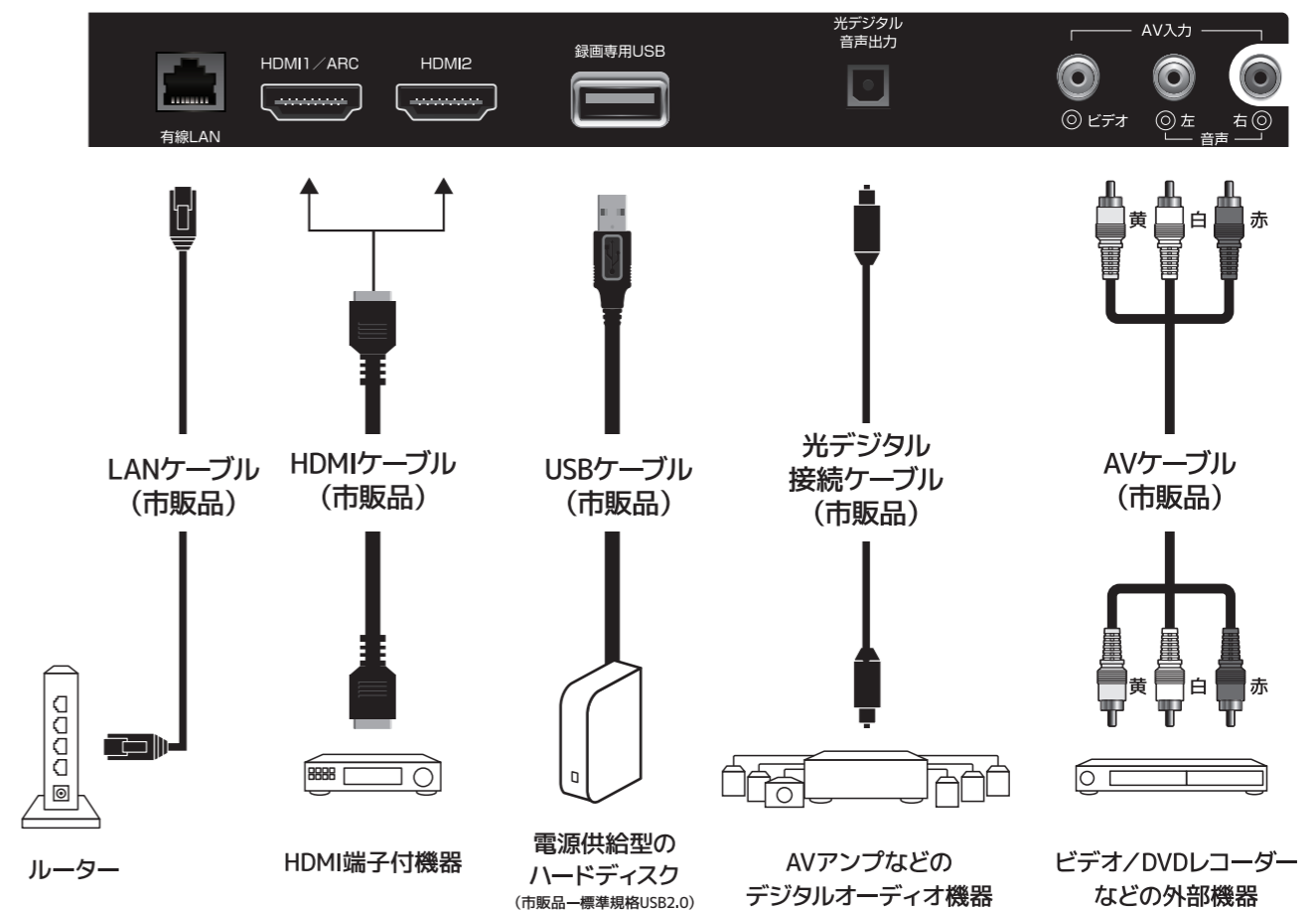
1. 「設定の初期化」を選び、『決定』ボタンを押します。
2. 初期化を行いお買上げ時の状態に戻したい時は「はい」を選択し、『決定』ボタンを押します。

外部機器と接続する

接続のしかた

<接続する前に>

本機に接続する機器の取り扱い説明書も併せてよくお読みください。ケーブルを接続するときは安全の為、本機、外部機器の電源コードを抜いて作業してください。接続するプラグは各機器にしっかりと差し込んでください。



接続について

- ビデオ (AVケーブル) で接続する**
- 対応している規格はNTSCです。合わないものについては視聴できないことがあります。
- HDMIケーブルで接続する**
- HDMI端子付機器との接続は、HDMI認証済みのケーブルをご利用ください。
 - HDMI機器との相性により音が出ない場合があります。
 - 当製品のHDMIバージョンは「1.4a」です。
 - ARC対応のオーディオ機器を接続する場合はARC対応ケーブルをご使用ください。※ARCはHDMI1のみ対応しています。
 - HDMI1/ARC端子に、ARC対応のオーディオ機器を、ARC対応のHDMIケーブルにて接続する場合はデジタル音声ケーブルの接続は不要です。
 - CEC、ARC共にすべての動作を保証するものではありません。
- USBハードディスクを接続する**
- P.30~32の「注意事項」「USBハードディスクについて」をよくお読みになってから接続使用してください。
 - 「新しいハードディスクが接続されました」と表示されましたら、各種設定から各設定を行ってください。
 - 取り外す場合には、必ず「設定メニュー」内にある「機器設定⇒ハードディスク⇒ディスク取り外し」を実行してから取り外してください。

その他

その他の情報

液晶パネルについて	液晶パネルは非常に精密な技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯する画素があります。これは故障ではありませんので、予めご了承ください。
画像の残像について	静止画を長時間表示された場合などに、部分的に映像が消えない（残像）症状が発生する場合がありますが、これは故障ではありません。通常の動画放送をご覧いただくことにより、次第に目立たなくなります。
廃棄方法について	<ul style="list-style-type: none"> ・本製品を廃棄の際は、個人情報保護のためにデジタル受信設定などの個人情報の消去を行ってください。 ・家電リサイクル法では、お客様ご使用済のテレビ（ブラウン管式、液晶式、プラズマ式）を廃棄される場合は、収集・運搬料金、再商品化等料金（リサイクル料金）をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。 ・mini B-CASカードは破棄せずに㈱ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズまで返却してください。
EWS(緊急警報放送)について	<p>EWS(緊急警報放送)とは：地震津波などの災害発生時に、放送波に特殊な信号を割り込ませることでテレビやラジオなどの受信機から警報音（ピロピロという音）を発生し、災害の発生と災害情報をいち早く知らせるための放送です。</p> <p>人命や財産に重大な影響のある次の3つの場合に限って放送されます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 大規模地震など災害についての警戒宣言が発せられた場合。 2) 津波警報が発せられた場合。 3) 地方自治体の長から、避難命令などの放送の要請があった場合。 <ul style="list-style-type: none"> ・本製品は地震や津波などの災害発生時に発信される緊急警報放送の文字スーパー表示に対応しています。緊急警報放送を受信することによる本製品の自動起動には対応しておりません。米軍基地周辺のAFN（米軍放送）の緊急告知放送には対応していません。 ・地上デジタル放送を視聴中にEWS（緊急警報放送）を受信すると、画面に「緊急警報放送を受信しました」と表示されます。このときに決定ボタンを押すと緊急警報放送が視聴できます。このメッセージはチャンネルを変えても表示されます。緊急警報放送を視聴した後、または表示しているメッセージを消す場合は「戻る」ボタンを押してください。
ES(エンジニアリング・サービス)について	<p>ES(エンジニアリング・サービス)とは、地上デジタル放送の電波を用いて本製品のファームウェア(ソフトウェア)を自動でアップデートし、機能の追加や改善などを行うサービスのことです。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) ESを行う際には、放送メールにて実施のお知らせが流れます。下図のメッセージが画面に表示された場合には、ESにご協力ください。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px auto;">XXXX年XX月XX日XX時XX分からソフトウェアのアップデートが実施されます。</div> 2) 上記メッセージの時間帯に本製品を待機(スタンバイ)状態にします。 3) 時間になるとファームアップ(ファームウェアのアップデート)が始まります。 ※ファームアップには10~30分程度かかります。(電波の受信状況により変わります。) ※ファームアップ中は電源を切ったりアンテナ線を抜いたりしないでください。 4) ファームアップが終了すると、放送メールで下図のメッセージが送られます。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px auto;">ソフトウェアのアップデートに成功しました。</div>
アナログ放送について	本機はアナログ放送(地上/衛星/CATV)については視聴できません。

※記載されている内容は、実際に表示される画面と文章表現などが異なる場合があります。画面表示については実際の画面をご確認ください。
 ※記載されている機能の中には、放送サービス側がその運用をしていない場合には使用できないものがあります。

故障かも・・・と思ったら

症状	考えられる原因	対処法	参照ページ
電源が入らない	電源プラグがコンセントから抜けている。	電源プラグをコンセントにしっかり差し込んでください。	P.13
	本体電源がOFFになっている。	本体裏側の電源がOFFになっていませんか？電源をONにし、電源表示ランプが赤色に点灯しているか確認してください。	P.13
電源が入っているのに画面に何も映らない	異なる外部入力モードになっている。	入力切替ボタンを押して入力モードを確認してください。	P.20
	B-CASカードが正しく挿入されていない。	B-CASカードが正しく挿入されているか確認してください。	P.11
	チャンネルスキャンが正しく行われていない。	設定メニュー画面からチャンネル設定のチャンネルスキャンを行ってください。	P.68
	衛星放送アンテナに電源が供給されていない。	本機とBS/CSアンテナが正しく接続されている事を確認し、衛星放送アンテナに電源が供給されているか確認してください。	P.13
電源が入っているのに操作ができない	電源電圧の急激な変化等で正常な動作をしていない。	電源コードをコンセントから抜き、1分ほど待ってから改めてコンセントに差し込んで電源を入れてください。	P.13
突然電源が切れる	オフタイマーが動作している。	オフタイマーをオフにしてください。	P.55
電源が勝手に入る	視聴予約をしていませんでしたか。視聴予約をしていると電源オフの状態でも予約した時間になると自動で電源がオンになり番組が始まります。	視聴予約を取消します。	P.22
地上デジタル・BS・CS放送が映らない	B-CASカードが正しく挿入されていない。	B-CASカードが正しく挿入されているか確認してください。	P.11
	アンテナの向き・角度がずれている。	アンテナの角度を調整してアンテナレベルが60以上(推奨値内)になるようにしてください。アンテナの調整は専門業者にお問合せください。※1	P.16・17
	チャンネルスキャンが正しく行われていない。	設定メニュー画面からチャンネル設定のチャンネルスキャンを行ってください。	P.68
	ケーブルテレビの伝送方式がパススルーではない。	ケーブルテレビ会社に伝送方式を確認してください。	—
	悪天候などにより受信感度が落ちている。	天候の影響により、映像が乱れることがあります。天候が回復するまでお待ちください。降雨対応放送に対応している時は切り換えることができます。	P.58
	アンテナ線の接続がゆるい、またはプラグ内の芯線が折れたり曲がったりしている。	アンテナ線の接続を確認してください。	P.13
特定のチャンネルが映らない	受信感度が良くない。	再スキャンをおこなってください。	P.68
	アンテナの向き・角度がずれている。	アンテナの角度を調整してアンテナレベルが60以上(推奨値内)になるようにしてください。アンテナの調整は専門業者にお問合せください。※1	P.16・17

※1 常に受信状態のよくないチャンネルは、市販のブースター(増幅器)を設置することで正常に受信できる場合があります。お近くの電気店にご相談ください。

故障かも・・・と思ったら

症状	考えられる原因	対処法	参照ページ
音声は出るが映像が出ない	映像設定の調整が悪い。	設定メニューから映像設定の調整をしてください。	P.60
	映像入力端子が正しく接続されていない。	外部入力機器を接続している場合は、映像入力端子が正しく接続されているか確認してください。	P.72
音声が出ない	音量調整が最小になっている。	音量ボタンを押して音量を調整してください。	P.19
	消音状態になっている。	消音ボタンを押して消音を解除してください。	P.19
	音声ケーブルが接続されていない。	外部入力機器を接続している場合は、各入力端子が正しく接続されているか確認してください。	P.72
	ヘッドホンモードが通常モードの状態ヘッドホンが接続されている。	ヘッドホンを外すか、親切モードに切り替えてください。	P.61
	設定が「外部スピーカー」になっている。	「ヘッドホン/音声出力設定」をご確認ください。	P.61
画面の映りが悪い	アンテナの向き・角度がずれている。	アンテナの角度を調整してアンテナレベルが60以上(推奨値内)になるようにしてください。アンテナの調整は専門業者にお問合せください。※1	P.16・17
	画面の視野角から外れている。	視野角の範囲外から見ると、映像が見にくい場合があります。	—
	他のテレビやラジオ、ゲーム機、パソコン、オーディオ、ビデオなどから妨害を受けている。	妨害を受けているものから離してご使用ください。	—
	悪天候などにより受信感度が落ちている。	天候の影響により、映像が乱れることがあります。天候が変わるまでお待ちください。降雨対応放送に対応している時は切り換えることができます。	P.58
画面の色がおかしい	「映像設定」の調整が悪い。	設定メニューから「映像設定」の調整をしてください。	P.60
画面が暗い	「明るさ」の調整が悪い。	設定メニューから「映像設定」の調整をしてください。	P.60
リモコンが動作しない	電池の極性が正しく入っていない。	電池の+-を確認し、正しい向きでリモコンに入れてください。	P.9
	電池が消耗している。	2本とも新しい電池に入れ替えて再度確認してください。	—
	リモコン受信部近くに障害物がある。	受信部の前から障害物を避け、本機の受光範囲内(左右30度、上下15度まで)で使用ください。	—
	リモコン受信部に日光や蛍光灯の光など強い照明が当たっている。	受信部を強い光から離してください。	—
番組表に何も表示されない	テレビ本体が操作不能になっている。	一度プラグをコンセントから抜いて、再度電源をいれてください。	P.13
	番組表の更新が行われていない。	一定時間ひとつのチャンネルを見ることで、そのチャンネルの番組表を取得することができます。(電波状況により時間がかかる場合があります)	P.22
選局できない番号ボタンがある	チャンネルが割り当てられていない番号を選局している。	チャンネル設定からチャンネルがその番号に割り当てられているか確認してください。	P.69
	チャンネルの切り換えに時間がかかっている。	受信信号を処理する時間上、チャンネルの切り換えに時間がかかる場合があります。	—

※本機には高度なソフトウェアが組み込まれています。上記のように正常に動作しなくなった時は、一度プラグをコンセントから抜いて、約1分後に再度電源プラグを差し込んでください。
 ※液晶パネルは非常に精密度の高い技術でつくられており、99.99%の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものがありますが、こちらは故障ではありません。
 ※地上デジタル放送は、地上アナログ放送に比べて数秒遅れて放送されますが、故障ではありません。
 ※1 常に受信状態のよくないチャンネルは、市販のブースター(増幅器)を設置することで正常に受信できる場合があります。お近くの電気店にご相談ください。

故障かも・・・と思ったら

症状	考えられる原因	対処法	参照ページ
インターネットに接続できない	正しく設定されていない。	お客様のネットワーク環境をご確認ください。	P.24~27
	正しく通信できていない。		
画面に黒い点(点灯しない点)または輝点(光る点)が見える	画面の一部に画素の欠け(ドット抜け)や輝点が存在している。	液晶は微細な画素の集合です。画面の一部に画素の欠け(ドット抜け)や輝点が存在する場合がありますが故障ではありません。	P.73
予約録画したはずの番組が録画リストにない	USBハードディスクの残容量不足。	USBハードディスクの残容量を確認してください。	P.47
	録画時の受信状況が悪かった。	受信状況を確認してください。	P.16・17
	番組情報が取得できていなかった。	番組情報を取得してから予約録画をしてください。	P.22
予約録画したはずの番組が録画リストにない	録画できない映像だった。	コピー禁止の番組や、独立データ放送、ラジオ放送番組、外部入力からの映像・音声は録画できません。	—
	放送開始時刻が変更された。	録画予約した番組の放送開始時刻が繰り上げられた場合は録画できません。放送開始時刻が変更になり録画できなかった場合は、「サブメニュー」→「その他の操作」→「お知らせ」で確認できます。	P.59
	複数台のハードディスクを接続していませんか。	予約録画したハードディスクを選択します。	P.48・P.68
録画した番組が消えた	「自動削除設定」が「削除する」になっている。	「自動削除設定」を「削除しない」に設定してください。または、消したくない番組を選び「保護設定」を「保護する」に設定してください。	P.49
録画した番組が再生できない	本機以外で再生しようとした。	本機で録画した番組は、本機以外ではご覧になれません。	P.30
	録画データが壊れている。	「録画番組の修復」によって修復できる場合があります。	P.36
ハードディスクが認識されない	ハードディスクが正しく接続されていない。	ハードディスクが正しく接続されているかご確認ください。	P.33
	ハードディスクが本機に登録されていない。	ハードディスクを本機に登録してください。	P.33・34
設定を初期状態に戻したい	—	「設定の初期化」を行ってください。	P.71

アフターサービスとお問い合わせ

修理を依頼される前にP74～76の「故障かも・・・と思ったら」をよくお読みいただき、症状を確認してください。確認しても症状が改善されない場合は、お買上げ店または弊社サポートセンターにご相談ください。

保証書を必ずご確認ください

別途添付してあります保証書については、必ず「お買上げ日」と「販売店名」の記入があることを確かめてからお買上げ店よりお受け取りください。

また、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。保証期間はご購入日から1年間です。
※本機を分解すると、保証が無効になります。

修理をご依頼される場合

修理を依頼される前にP74～76の「故障かも・・・と思ったら」をよくお読みいただき、症状を確認してください。それでも症状が改善されない場合は、まず電源プラグを抜いてお買上げ店または弊社サポートセンターにご連絡ください。

※保証期間中は保証書の規定に従って、修理させていただきます。

※保証期間を過ぎているときは、修理すれば使用できる場合、ご希望により有償修理させていただきます。

※保証期間中であっても、中古譲渡、中古販売、オークション等正規販売店以外からご購入の商品は、保証の対象外となりますので販売店にお問合せ下さい。

※ご購入時の梱包箱で梱包してください。また箱がない場合にはお客様で梱包用の箱をご用意いただき緩衝材を利用するなど輸送時に破損しないよう梱包をしてください。

※輸送時の事故はお客様の責任となります。しっかりと梱包をしてください。

修理をご依頼される時にご準備いただきたい内容

- ・お客様の氏名/住所/電話番号
 - ・製品名/型番/お買上げ日/お買上げ店
 - ・故障または異常の内容(できるだけ詳しく)
- ※梱包箱についてお願い:修理が必要となった場合はこちらの箱に入れていただき修理センターまでお送りいただくことになります。当梱包箱は捨てないようご注意ください。

本製品に関するお問合せおよび修理に関するお問合せ

付属の保証書に詳細情報を記載しております。保証書をご確認ください。

【修理センター】※発送前に必ず上記カスタマーサポートへご連絡下さい

〒198-0042 東京都青梅市東青梅3-23-10 サンシャインメゾン1階 株式会社コアメイトジャパン サポートセンター

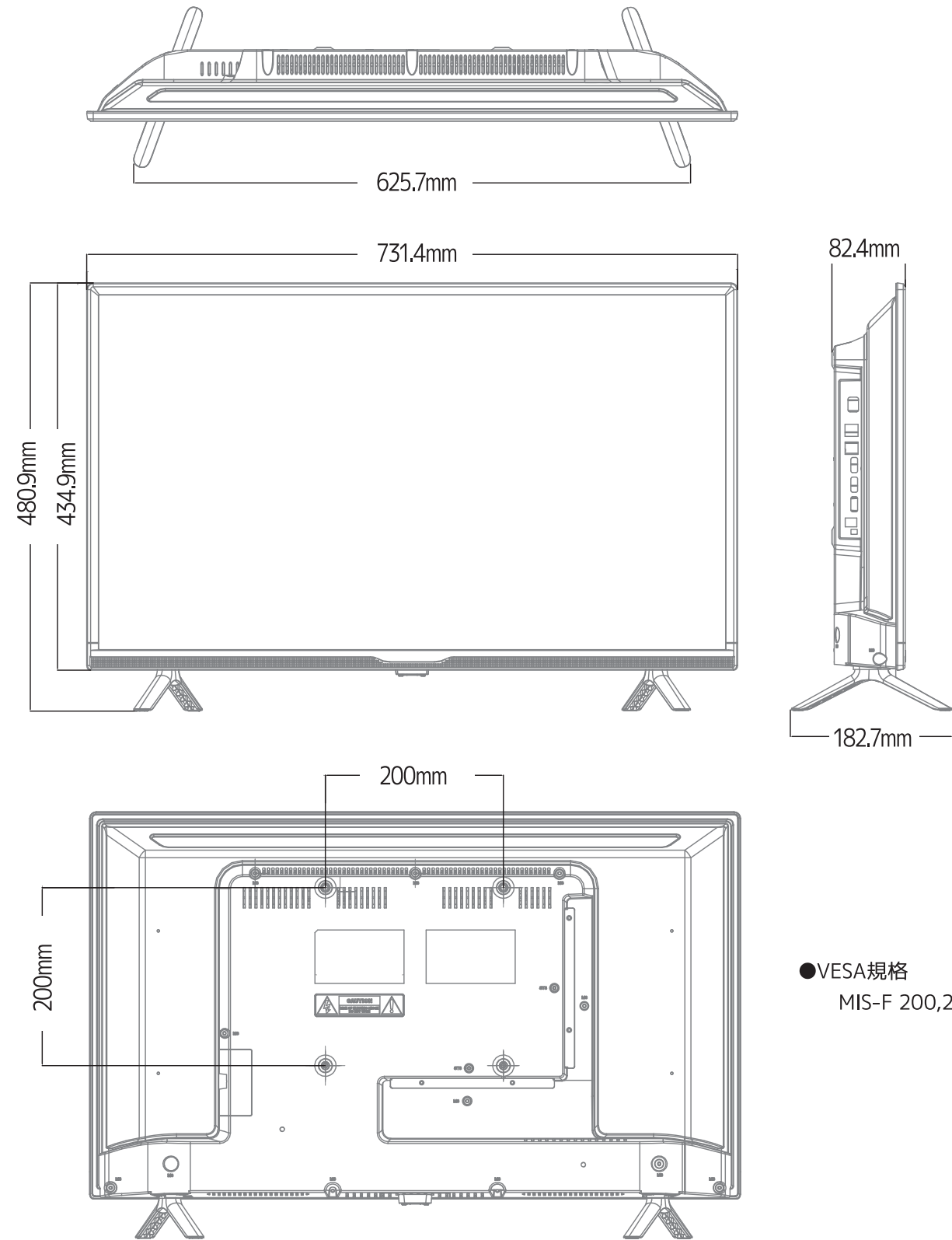
製品仕様

品名	32V型 1TBハードディスク&ダブルチューナー搭載 地上波・BS・CSデジタル液晶テレビ	40V型 1TBハードディスク&ダブルチューナー搭載 地上波・BS・CSデジタル液晶テレビ
テレビチューナー	ISDB-T/S	
パネルサイズ	31.5inch 32V型	39.5inch 40V型
解像度	1366x768	1920x1080
輝度	200cd/m ²	220cd/m ²
コントラスト比	3000:1	5000:1
応答速度	6.5ms	9.5ms
アスペクト比	16:9	
視野角(標準値)	水平170° 垂直170°	
スピーカー出力	5W×2	8W×2
入力端子	HDMI入力端子×2,AV入力端子,アンテナ入力端子(F型)×2,有線LAN端子,録画用USB端子	
出力端子	ヘッドホン出力端子,光デジタル音声出力端子	
定格電圧	AC100v (50/60Hz)	
消費電力	55W	84W
STANDBY消費電力	1.5W	1.5W
年間消費電力	65kWh/年	108kWh/年
区分名	DN2	DF2
使用環境	温度:-5℃~40℃/湿度 80%以下(結露のないこと)	
本体寸法	約W731xD183xH481mm(スタンド付)	約W904xD180xH561mm(スタンド付)
本体重量	約4.3kg	約5.9kg
付属品	取扱説明書、保証書、リモコン用単4乾電池×2、リモコン、買って観るまでガイド、mini B-CASカード、スタンド×2、取付用ねじ×4	

※製品仕様および外観は、改良のために予告なく変更する場合があります。

製品仕様

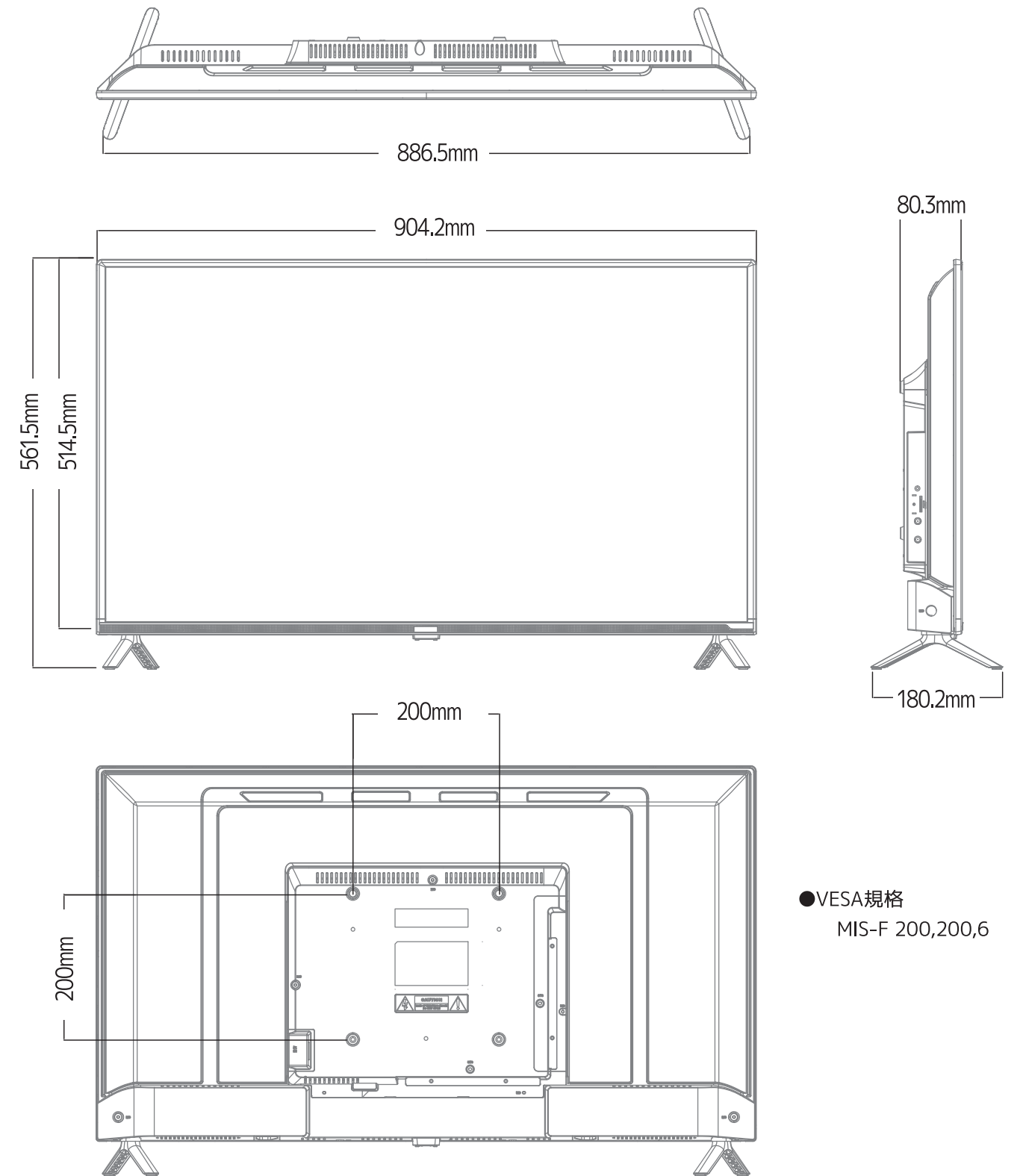
32V型 1TBハードディスク&ダブルチューナー搭載 地上波・BS・CSデジタル液晶テレビ



●VESA規格
MIS-F 200,200,6

製品仕様

40V型 1TBハードディスク&ダブルチューナー搭載 地上波・BS・CSデジタル液晶テレビ



●VESA規格
MIS-F 200,200,6